

授業科目名	言語の万華鏡 I		
科目番号	1B01031	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 1
担当教員	平井 明代		
授業概要	高校までに学んだ日本語と英語を異なる視点から再発見する体験を通じ、「語学」と「言語学」の違いを理解するとともに高校までの学習と大学における研究の違いを自覚する。		
備考	(人文開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B 精神、文化、社会、歴史に関わる総合科目		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	人間の知識・能力の中で最も複雑で根源的であると言われる「言語」を多彩な角度から見渡し、角度によって変化する言語研究の妙を楽しむ。「言語の万華鏡 I」では、日常とは異なる眼で言語を見直すと同時に、高校までとは異なる視点から日本語や英語を眺めることを通じて、語学と言語学の違いや言語研究の奥深さの一端を理解することを目指す。		
到達目標	1. 高校までに学んだ英語を異なる視点から再発見する。 2. 日本語を日常とは異なる視点で再発見する。 3. 語学と言語学の違いを理解する。 4. 高校までの学習と大学における研究の違いを意識し、高い感受性を身につける。		
キーワード	日本語, 英語, 語学, 言語学		
各回授業計画	<p>第 1 回【4 月 18 日 池田潤 人文社会系】 [言語と脳科学] 脳神経活動を可視化することによって言語を研究する方法について紹介する。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 25 日 山村崇斗 人文社会系】 [学習英文法と文法理論] 生成文法理論の視点から、「言語」や「文法」とは何かを考える。英語の表面上の特異性をまとめた学習英文法とは違った「文法」の姿を紹介する。</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 島田雅晴 人文社会系】 [手話と文法理論] 手話は言語かどうか、という問題設定から、「言語」といえるものが等しく持つ性質をいくつか紹介する。そして、それを研究する目的と意義について説明する。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 16 日 金谷優 人文社会系】 [英語再発見 (1)] 言語の意味とモノの捉え方の間にある関係を紹介する。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 23 日 青木三郎 人文社会系】 [未来遺産としての言語] 言語の根底は意味を分かち合い、伝えていく活動である。この活動は言語コミュニケーションの諸相に現れる。本講義ではコミュニケーションにおける言語のありようを示す。さらに言語を世代から世代へと伝える仕組みと機能(文法・語彙・脳機能)について学ぶ。それにより文化の未来遺産としての言語の認識を深める。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 30 日 柳田優子 人文社会系】 [英語再発見 (2)] 言語のもっとも基礎的な性質である「格」という概念を中心に言語の普遍性と多様性について考察する。</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 6 日 加賀信広 人文社会系】 [英語再発見 (3)] 英語の SVOC 構文を取り上げ、移動や結果を表す構文では、対応する日本語表現とは異なり、もう 1 つの動詞が裏に隠れていることを論ずる。</p> <hr/> <p>第 8 回【6 月 13 日 橋本修 人文社会系】 [日本語再発見 (1)] 日本語の名詞修飾について概略を観察したのち、古典日本語・他言語と比較した際の特徴等について考える。</p> <hr/> <p>第 9 回【6 月 20 日 那須昭夫 人文社会系】 [日本語再発見 (2)] アクセントのしくみを観察しながら、日本語の音の世界に働く規則性や文法性について理解する。</p>		

	<p>第 10 回【6 月 27 日 磐崎弘貞 人文社会系】 [エラーから見る日本人の英語語彙処理プロセス] 実際の英文解釈上のエラーを分析することで、日本人学習者の語彙処理プロセスを探る。</p> <hr/> <p>第 11 回【7 月 4 日 平井明代 人文社会系】 [期末試験]</p>
履修条件	言語の万華鏡 II も合わせて受講すると、言語に関してより総合的な理解が得られる。
成績評価方法	出席と授業への参加度 (約 20%)、期末試験 (各回の授業内容に対する理解度、授業で紹介された文献を読み、自ら学んだかを含む) の成績 (約 80%) を総合して評価する。
授業外における学習方法	毎回の授業で紹介された資料や文献を読み解き、自ら問題を発見する姿勢を身につける。
教材・参考文献	教科書は使用しない。毎回の授業でハンドアウトを配布し、参考文献を紹介する。
オフィスアワー・連絡先	科目責任者: 平井明代 オフィスアワー: 月 5 (メールで要予約。hirai.akiyo.ft@u.tsukuba.ac.jp)
履修者へのメッセージ	与えられたものだけをこなすという高校までの学習スタイルから脱皮し、自ら問題を発見し、探求する姿勢を身につけてください。

授業科目名	古典に学ぼう 日本・アジア編		
科目番号	1B02261	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 1
担当教員	本井 牧子, 秋山 学, 吉水 千鶴子, 馬場 美佳		
授業概要	東アジアにおいては、文学、思想、歴史などのさまざまな分野で、数多くの典籍がうみだされ、人類に普遍的な「古典」の地位を獲得してきた。現在「古典」としてひろく認識されている典籍を味読・分析しながら、文化の問題に迫る。併せて、広く一般的教養を身につけることを目指す。		
備考	(比文開設) 西暦偶数年度開講。 【受講制限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B:精神、文化、社会、歴史に関わる総合科目		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的			
到達目標	1. 日本およびアジアの古典に親しむ。 2. 古典を通じて人類の叢智を学ぶ。 3. 文学史・思想史・文化史の教養を身につける。		
キーワード	文学・思想・歴史・文化史・古典読解		
各回授業計画	<p>第 1 回【4 月 18 日 本井牧子 人文社会系】 [「古典」とは何か] 「古典」と位置づけられることの意味を考える。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 25 日 吉水千鶴子 人文社会系】 [『マハーバーラタ』と『バガヴァッドギーター』を読む (1)] インドを代表する古典作品であり、この世の無常と不条理を歌い上げた叙事詩『マハーバーラタ』を紹介し、その魅力にせまる。</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 吉水千鶴子 人文社会系】 [『マハーバーラタ』と『バガヴァッドギーター』を読む (2)] 『マハーバーラタ』に挿入されるヒンドゥー教の真髄を歌う神の歌『バガヴァッドギーター』を紹介し、この作品が世界に愛される理由を探る。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 16 日 秋山学 人文社会系】 [漢訳仏典の概要] 漢訳仏典に関してその伝承を探りながら、特に日本仏教の全体像について理解する。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 23 日 秋山学 人文社会系】 [『梵網経』をひもとく] 日本の「お坊さん」の地平を表す経典『梵網経』と梵網戒について考えてみたい。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 30 日 本井牧子 人文社会系】 [漢字・漢文文化圏における古典] 日本の古典文学が、漢字で書かれた中国の古典をどのように受容しているかをみる。</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 6 日 本井牧子 人文社会系】 [古典の展開] 『伊勢物語』と能『井筒』とをとりあげ、古典の展開の様相をみる。</p> <hr/> <p>第 8 回【6 月 13 日 馬場美佳 人文社会系】 [古典に学ぶ日本近現代作家たち (1)] 戦中期編。与謝野晶子と谷崎潤一郎が『源氏物語』の翻訳から学んだものとは。</p> <hr/> <p>第 9 回【6 月 20 日 馬場美佳 人文社会系】 [古典に学ぶ日本近現代作家たち (2)] 戦後高度経済成長期編。女流作家たちが『源氏物語』に魅入られた理由とは。</p> <hr/> <p>第 10 回【6 月 27 日 馬場美佳 人文社会系】 [古典に学ぶ日本近現代作家たち (3)] 1990 年以降編。現代作家たちによる『源氏物語』への大胆なアプローチにせまる。</p> <hr/> <p>第 11 回【7 月 4 日 本井牧子 人文社会系】 [期末試験]</p>		
履修条件	なし		
成績評価方法	期末試験 (80%)..... 授業内容を的確に把握していること。 出席状況 (20%)..... 授業に積極的に参加していること。		

授業外における 学習方法	授業でとりあげられた作品や、紹介された参考文献、関連書籍を読む。
教材・参考文献	授業時に担当者が資料を配付する。参考文献については授業中に指示する。
オフィスア ワー・連絡先	授業時に指示。
履修者へのメッ セージ	日本・アジアの古典の奥深い世界をあじわいながら学んでほしい。

授業科目名	宗教から見る現代世界		
科目番号	1B02321	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 1
担当教員	木村 武史, 津城 寛文, 山中 弘		
授業概要	今日のグローバル社会は、宗教の意義・役割を抜きにしては十分に理解することはできない。しかも、「宗教」といっても実に多種多様な宗教があり、単純に一つの見方から考えるだけでは、その様々なレベルにおける影響を十分には捉えきることができない。このような観点から、本講義では、現代世界で起きている出来事を「宗教」を通して見る視点を身につけることを目的とする。		
備考	(比文開設) 西暦偶数年度開講。 【受講制限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B:精神、文化、社会、歴史に関わる総合科目		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	今日のグローバル社会は、宗教の意義・役割を抜きにしては十分に理解することはできない。しかも、「宗教」といっても実に多種多様な宗教があり、単純に一つの見方から考えるだけでは、その様々なレベルにおける影響を十分には捉えきることができない。このような観点から、本講義では、現代世界で起きている出来事を「宗教」を通して見る視点を身につけることを目的とする。		
到達目標	1. 宗教についての基礎知識を身につける。2. 宗教の多角的な視野を身につける。		
キーワード	宗教, 現代世界, グローバル世界		
各回授業計画	<p>現代グローバル社会の動向を考えるにあたって宗教についての知識は欠かせなくなってきている。文系・理系関係なく世界で活躍する人は現地の宗教事情に敏感である必要がある。</p> <p>第 1 回【4 月 18 日 木村武史 人文社会系】 [現代世界と宗教]</p> <p>現代グローバル社会の動向を考えるにあたって宗教についての知識は欠かせなくなってきている。世界の動向を読み解くための宗教についての知識とは何かについて紹介する。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 25 日 木村武史 人文社会系】 [政治と宗教]</p> <p>今年はアメリカ大統領選挙の年。アメリカにおける政治と宗教の関係を手掛かりに、世界における政治と宗教について考えてみる。</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 木村武史 人文社会系】 [環境問題と宗教]</p> <p>環境問題と宗教について考える。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 16 日 山中弘 人文社会系】 [宗教社会学と現代宗教]</p> <p>宗教社会学は、宗教をどのように理解しようとしてきたのかを、世俗化論を材料に説明します。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 23 日 山中弘 人文社会系】 [日本人の宗教とは?]</p> <p>日本人は無宗教とよく言われるが、現実の日本の宗教の状況はどのようにになっているのかを統計などを使いながら説明する。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 30 日 山中弘 人文社会系】 [聖地とツーリズム]</p> <p>現代宗教の一側面として、聖地とツーリズムとの密接な関係について説明する。</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 6 日 津城寛文 人文社会系】 [宗教の社会的側面と他界的側面]</p> <p>宗教と一括される領域は、多様な現象を含んでいる。方法や対象、時代や地域などで区分、整理することができるが、ここでは社会的側面と他界的側面という区別を提案する。</p> <hr/> <p>第 8 回【6 月 13 日 津城寛文 人文社会系】 [宗教と社会]</p> <p>宗教の社会的側面に注目し、とくに新宗教の事例、教祖論、教団論などを紹介する。また、死角を少なくするため、新宗教の他界的な側面にも言及し、事件化するケースに注意を促す。</p>		

	<p>第9回【6月20日 津城潤文 人文社会系】 [宗教と他界] 宗教の社会的側面と他界的側面のうち、後者に注目し、とくにシャーマニズムの事例や研究を紹介する。社会的な側面にも言及し、事件化するケースに注意を促す。</p> <hr/> <p>第10回【6月27日】 試験</p>
履修条件	特になし
成績評価方法	<p>期末試験 (80%)・・・授業内容を的確に把握していること。 出席状況 (20%)・・・授業に積極的に参加していること。</p>
授業外における学習方法	授業で出てきた話題を自分でも調べてみることを。
教材・参考文献	特になし
オフィスアワー・連絡先	授業時に指示。
履修者へのメッセージ	宗教を学ぶことの意義を見つけてほしい。

授業科目名	日本とは何か I		
科目番号	1B03011	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 1
担当教員	中込 睦子		
授業概要	日本の国際化や多文化共生社会に対して、我々はどのように向き合うべきなのか。海外および国内における日本語教育、世界の言語の一つとして日本語を捉えた研究、外国人との日本語コミュニケーションなどを通して、現代日本および日本語の有り様を考える。		
備考	(日開設) 日本語・日本文学類学生の履修を認めない。 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	日本の国際化や多文化共生社会に対して、我々はどのように向き合うべきなのか。海外および国内における日本語教育、世界の言語の一つとして日本語を捉えた研究、外国人との日本語コミュニケーションなどを通して、現代日本および日本語の有り様を考える。		
到達目標	1 世界の言語と日本語の共通点・相違点を考察することにより、日本語の特徴を相対的な観点から見つめなおす力を身につける。 2 日本語を外国語として教える日本語教育というテーマを掘り下げて考えることにより、現代社会の問題についての知識を獲得し、問題解決に向けて考える態度を養う。		
キーワード	言語類型論、外国語と日本語、日本語教育、日本語の音韻・語彙・文法・表現、外国人住民		
各回授業計画	<p>1 回目から 5 回目までを松崎寛 (文芸言語専攻)、6 回目から 10 回目までを山田野絵 (グローバルコミュニケーション教育センター) が担当する。</p> <p>第 1 回【4 月 18 日 松崎寛 人文社会系】 [国際化と日本語 1] 言語と国家</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 25 日 松崎寛 人文社会系】 [国際化と日本語 2] 日本語は特異な言語か</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 松崎寛 人文社会系】 [国際化と日本語 3] 日本語は曖昧な言語か</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 16 日 松崎寛 人文社会系】 [日本語教育と日本語 1] 世界の日本語学習者</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 23 日 松崎寛 人文社会系】 [日本語教育と日本語 2] 漢字文化圏の日本語学習者</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 30 日 山田野絵 グローバルコミュニケーション教育センター】 [日本語教育と日本語 3] 海外における日本語教育</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 6 日 山田野絵 グローバルコミュニケーション教育センター】 [日本語教育と日本語 4] 国内における日本語教育</p> <hr/> <p>第 8 回【6 月 13 日 山田野絵 グローバルコミュニケーション教育センター】 [日本語教育から見た日本語 1] 日本語の特徴 1</p> <hr/> <p>第 9 回【6 月 20 日 山田野絵 グローバルコミュニケーション教育センター】 [日本語教育から見た日本語 2] 日本語の特徴 2</p> <hr/> <p>第 10 回【6 月 27 日 山田野絵 グローバルコミュニケーション教育センター】 [日本語教育から見た日本語 3] やさしい日本語 共生社会に向けて</p>		

	第 11 回【7 月 4 日 松崎寛・山田野絵】 期末試験
履修条件	日本語・日本文化学類学生の履修を認めない。
成績評価方法	定期試験:課題に関する理解度と論理性・創造性 出席状況:三分の二以上の出席
授業外における 学習方法	授業で紹介した文献を積極的に読むこと。
教材・参考文献	授業時に適宜紹介する。
オフィスア ワー・連絡先	授業担当教員－松崎寛 matsuzaki.hiroshi.fp@u.tsukuba.ac.jp 世話人教員－中込睦子 nakagomi.mutsuko.ft@u.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッ セージ	日本や日本語の理解を深めることが、世界や多言語の理解につながることを期待しています。



授業科目名	政治学入門:時事・政治・政治学		
科目番号	1B04071	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 1
担当教員	明石 純一		
授業概要	新聞、テレビ、論壇等で話題になっている政治、行政、国際関係などに関する問題を取りあげ、政治学の観点から、理論的・実証的に分析する。		
備考	(社会開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	新聞、テレビ、論壇等で話題になっている政治、行政、国際関係などに関する時事問題を取りあげ、政治学の観点から、理論的・実証的に分析する。		
到達目標	1 現代政治・国際問題に対する自分なりの問題意識と思考方法を獲得する。 2 現代政治・国際問題を分析する際に、どのような点に着目すべきかを学習する。 3 現代政治・国際問題を考えるための基本的知識を習得する。		
キーワード	デモクラシー, 公的決定, 日本政治, 比較政治, 公共政策, 米下院選挙, 参議院選挙, 衆議院選挙, 安全保障		
各回授業計画	<p>第 1 回【4 月 18 日 竹中佳彦 人文社会系】 「2014 年衆院選の分析」 衆議院議員総選挙の仕組みについて概説し、2014 年 12 月の第 47 回衆院選の結果について分析する。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 25 日 竹中佳彦 人文社会系】 「2016 年参院選の行方」 参議院議員通常選挙の仕組みについて概説し、2016 年 7 月 (あるいは 6 月) に行われる第 24 回参院選の行方を考える。</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 南山淳 人文社会系】 「在沖米軍基地と安全保障」 戦後日本の安全保障の問題を日米安保体制と在沖繩米軍基地の歴史構造の観点から検討する。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 16 日 講義担当者 南山淳 人文社会系】 「在沖米軍基地とデモクラシー」 普天間基地移設問題を中心に在沖繩米軍基地が問いかける現代日本のデモクラシーのあり方について考える。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 23 日 近藤康史 人文社会系】 「『解散』と日本政治」 日本ではしばしば、衆議院の解散が取り沙汰され、話題となる。日本の首相は、どのような時に、なぜ解散をするのだろうか?戦後の日本政治を振り返りながら、日本政治において「解散」が持つ意味を考える。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 30 日 近藤康史 人文社会系】 「『解散』の比較政治」 日本ではしばしば衆議院の「解散」が行われるが、このことは諸外国と比較した場合には通常のことなのだろうか?イギリスやドイツ、アメリカといった国々と比較しながら、「解散」の持つ政治学的意味を、より広い文脈から考える。</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 6 日 鈴木創 人文社会系】 「アメリカ連邦議会下院選挙 (1)」 アメリカの下院選挙の仕組みを概説した上で、近年の選挙結果を振り返りながら二大政党間の競争について考察する。</p> <hr/> <p>第 8 回【6 月 13 日 鈴木創 人文社会系】 「アメリカ連邦議会下院選挙 (2)」 同上</p> <hr/> <p>第 9 回【6 月 20 日 辻中豊 人文社会系】 「政治とは何か-政治システム、政治体制-」 政治の多様性と普遍性について述べ、政治=公的決定が生じる、制度的で権力構造的な枠組みについて概説する。</p>		

	<p>第 10 回【6 月 27 日 辻中豊 人文社会系】 「日本政治の課題」 現代日本において、いかなる公的決定が必要とされているかを概説し、学生と対話する。</p> <hr/> <p>第 11 回【7 月 4 日】 [期末試験]</p>
履修条件	本講義はすべて日本語で行われるので講義理解に必要な最低限の日本語運用能力を要する者。
成績評価方法	学期末試験に出欠状況を加味する。
授業外における学習方法	毎日、複数の新聞を読むこと。
教材・参考文献	講義時に担当者から指示する。
オフィスアワー・連絡先	<p>随時(要予約) Eメールにより随時 人文社会学系棟 A409 akashi.junichi.fu at u.tsukuba.ac.jp</p>
履修者へのメッセージ	日常的に政治や国際関係に対する関心をもって、自分なりの問題意識を向上させていってください。

授業科目名	学校を考える I		
科目番号	1B06011	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 1
担当教員	山本 容子, 唐木 清志		
授業概要	学校の生い立ち、社会とのかかわり、学校を支える仕組みなどに視点を当てて、今日学校が抱える諸問題を整理し、そのいくつかについて検討する。		
備考	(教育開設) 人間学群学生の受講は認めない。講義の一部にディスカッションを取り入れるため、受入れ上限数を 80 名とする。 【受入上限数 80 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	これまで受けてきた学校教育と自己の被教育経験を相対化し、学校とは何かについて考察することが本授業の目的である。 歴史的、社会的、文化的な視点から学校という事象を眺め、具体的な教科の学習を通じた学校の教育役割について考察していくところに特徴がある。		
到達目標	1 学校を取り巻く問題についての様々な知識を身につける 2 学校を取り巻く問題についての鋭い分析力を身につける 3 学校を取り巻く問題について総合的な考察力を培う		
キーワード	教育史, 教育思想, 教育課程, 理科教育		
各回授業計画	<p>第 1 回【4 月 18 日】唐木清志 人間系 [学校の現状] 自分自身の学校生活を振り返りながら、現代の学校の現状を考察する。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 25 日】唐木清志 人間系 [理想の学校] 理想の学校はどうあるべきか、グループでの議論を通して一致点を探る。</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日】唐木清志 人間系 [学校の歴史] 学校の歴史を考察しながら、現代の教育改革の意義を考察する。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 16 日】唐木清志 人間系 [さまざまな学校のしくみ] 日本や世界のさまざまな学校を紹介し、学校の多様性を考察する。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 23 日】唐木清志 人間系 [学校が抱える課題] 学校の在り方を批判的に検討した言説を紹介し、学校が抱える課題と課題克服の視点を考察する。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 30 日】山本容子 人間系 [日本の子どもの学力の問題] 国内外の学力調査の結果をもとに、日本の子どもの学力の現状、背景等を把握、考察する。</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 6 日】山本容子 人間系 [学校の教育課程 (I)] 現在、日本の学校教育はどのような方向に進んでいるのか、現行の教育課程全体の重点について検討する。</p> <hr/> <p>第 8 回【6 月 13 日】山本容子 人間系 [学校の教育課程 (II)] 現在、日本の理科教育はどのような方向に進んでいるのか、現行の教育課程理科の重点について検討する。</p> <hr/> <p>第 9 回【6 月 20 日】山本容子 人間系 [学校の教育課程 (III)] 諸外国の科学カリキュラムを紹介し、世界から見た日本の理科教育の特質を考察する。</p> <hr/> <p>第 10 回【6 月 27 日】山本容子 人間系 [次期教育課程の改訂] 諸外国の教育課程変革動向を把握し、日本の次期教育課程の改定の方向性を検討する。</p>		

	第 11 回【7 月 4 日】唐木清志 山本容子 人間系 [期末試験またはレポート]
履修条件	人間学群学生の受講は認めない。受け入れ上限数を 80 名とする。
成績評価方法	評価方法 (評価割合) 及び評価基準 A:試験 (レポート)(50%) B:授業内提出物 (20%) C:出席状況 (30%) 到達目標 1: C を「より重視」・A を「重視」 到達目標 2: B を「より重視」・A を「重視」 到達目標 3: A を「より重視」・B を「重視」
授業外における 学習方法	受講している様々な講義の内容や新聞・雑誌等における教育に関する言説に関心を持つこと。
教材・参考文献	授業にて適宜、配布する。
オフィスア ワー・連絡先	山本 容子 yamamoyo at human.tsukuba.ac.jp 唐木 清志 karaki at human.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッ セージ	学校についての自分の経験を振り返り、学校教育の現状に問題意識をもつこと。

授業科目名	知的財産のしくみ (著作編)		
科目番号	1B20011	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 1
担当教員	長谷川 秀彦		
授業概要	ニュートンが「私は巨人の肩に乗って仕事をした」と言ったように、大発見や科学の進歩は、それまでに蓄積された膨大な知識の上に築かれる。新しい科学的知識は、まず学術雑誌等に論文として発表される。この意味で、学術論文は科学の発展を支える知的財産であり、研究者は価値のある論文を人よりも早く出すことにしのぎを削る。本科目では、研究者が論文を発表し、それが利用され、社会に認定・評価される仕組みについて学ぶ。		
備考	(知識開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	研究者はどのようなルールに基づいて活動しているのか、そこでやってよいことといけないことについて学ぶ。 科学的知識の生産プロセスとしての研究活動はいかなるものかを明らかにし、どのような過程をへて論文として公表されるかを学んだあと、科学的知識を蓄積し、そこから適切なものを探し出して活用する手法について学ぶ。 特に、科学的知識の生産・管理に深く関わる著作権と研究倫理を科学的知識との関連で学ぶ。		
到達目標	1 科学的知識の成り立ちや、科学的知識の生産者である研究者の行動原理を理解する 2 著作権に関して、他人の権利を侵害しない最低限のルールを身につける 3 学習した事項を将来の研究活動、社会生活に役立てられるようにする		
キーワード	科学的知識, 学術論文, 出版, 著作権, 研究倫理, 研究ネットワーク, Intellectual-Property, Scholarly-Works		
各回授業計画	<p>第 1 回【 4 月 18 日 芳鐘 冬樹 図書館情報メディア系 】 [知的財産である著作をめぐる世界を概観する] 講義の概要について説明する</p> <hr/> <p>第 2 回【 4 月 25 日 三波 千穂美 図書館情報メディア系 】 [レポート vs 論文] レポートと論文の違い、論文の構成を学ぶ</p> <hr/> <p>第 3 回【 5 月 9 日 三波 千穂美 図書館情報メディア系 】 [学術論文とは:まとめ] 研究の過程、論文作成の過程、論文が公表されるまでの過程、研究における不正行為について学ぶ</p> <hr/> <p>第 4 回【 5 月 16 日 谷藤 幹子 物質・材料研究機構 科学情報室 】 [科学と論文] 科学-研究-論文の科学の成り立ちを通して、論文が果たす役割から、ネット社会における研究環境の変化を概観する</p> <hr/> <p>第 5 回【 5 月 23 日 谷藤 幹子 物質・材料研究機構 科学情報室 】 [電子出版著作権制度の概要] 紙からインターネットまで、出版の媒体は多様化し、技術も大きく進歩する中、書籍から論文までの電子出版入門を学ぶ</p> <hr/> <p>第 6 回【 5 月 30 日 谷藤 幹子 物質・材料研究機構 科学情報室 】 [ネット社会における論文出版最前線] YouTube や動画ジャーナルなど、科学論文は動的なコンテンツとしても機能を持つようになった。論文価値観の変容、クリエイティブコモンズといった新しい著作権利の運用について学ぶ</p> <hr/> <p>第 7 回【 6 月 6 日 芳鐘 冬樹 図書館情報メディア系 】 [論文生産と評価] 論文生産の計量的評価を中心に、論文の流通、蓄積、提供、利用まで含めた評価に関わる問題の全体像を学ぶ</p> <hr/> <p>第 8 回【 6 月 13 日 芳鐘 冬樹 図書館情報メディア系 】 [研究のネットワーク] 共著関係や引用関係から分かる研究者のつながりなど、論文データベースからの知識発見について学ぶ</p>		

	<p>第9回【6月20日 村井 麻衣子 図書館情報メディア系】 [著作権制度の概要] 研究倫理と著作権法上の規律の差異を踏まえつつ、研究を行う際に知っておくべき著作権制度の基礎を概観する</p> <hr/> <p>第10回【6月27日 村井 麻衣子 図書館情報メディア系】 [科学的知識と著作権] 論文作成にあたって著作権法上留意すべき点(引用の要件など)や、身近な著作物の利用に際して気をつけること(インターネット上の著作権侵害など)を学ぶ</p> <hr/> <p>第11回【7月4日】 予備</p>
履修条件	学習意欲があること
成績評価方法	授業時の小テストとレポート:それぞれの担当者が、授業時に提示した評価基準により100点満点で評価する。その後、それらを加重平均し最終成績とする。 欠席者に対する特別な配慮はしない
授業外における学習方法	論文などの科学的知識にふれる際、授業で習った観点を考えてみる。 指定された文献を読む
教材・参考文献	必要に応じてプリントを配布する。参考文献は講義で紹介する
オフィスアワー・連絡先	月14:00-16:00 7D211 hasegawa at slis.tsukuba.ac.jp <a href="http://www.slis.tsukuba.ac.jp/~hasegawa/">http://www.slis.tsukuba.ac.jp/~hasegawa/</a>
履修者へのメッセージ	No Message

授業科目名	国際学を学ぶ I		
科目番号	1B05041	単位数	2.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 1,2
担当教員	黒川 義教		
授業概要	世界規模で国際社会が変化し、環境問題や人口問題が進行する中、国際社会で生じる諸現象について理解することが求められている。本講義では、グローバルな対応が求められる国際社会の諸課題に対して、人文・社会科学や情報・環境学における様々な視点や方法からアプローチしつつ、今後の国際社会の在り方について理解と考察を深めることを目的とする。この「国際学を学ぶ I」では、特に、国際政治・国際法、経済学、文化・社会開発の視角から論じる。総合的な理解を得るために、情報・環境学の視点から論じる「国際学を学ぶ II」とあわせて履修することが望ましい。		
備考	*国際総合学類生の受講は認めない。 (国際開設)【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	世界規模で国際社会が変化し、環境問題や人口問題が進行する中、国際社会で生じる諸現象について理解することが求められている。本講義では、グローバルな対応が求められる国際社会の諸課題に対して、人文・社会科学や情報・環境学における様々な視点や方法からアプローチしつつ、今後の国際社会の在り方について理解と考察を深めることを目的とする。この「国際学を学ぶ I」では、特に、国際政治・国際法、経済学、文化・社会開発の視角から論じる。		
到達目標	1. 国際社会における諸問題に対する意識を深めることができる。 2. 国際社会の問題解決のために、国際政治・国際法、経済学、文化・社会開発などの人文・社会的分野において、どのような取り組みが実施されているかを理解することができる。 3. 今後のより良い国際社会の構築に向けて、何が必要とされているかを自分で考える能力を養うことができる。		
キーワード	国際学		
各回授業計画	<p>教室は 3A402 です</p> <p>第 1 回【4 月 18 日 潘亮 人文社会系】 [国際政治学理論とその発展の軌跡] 国際関係をめぐるさまざまな事象を分析する際の方法論を国際政治学の諸理論に基づいて概観する。それぞれの分析手法の特徴と限界及びその発展の歴史を議論することによって、国際情勢分析における複眼的なアプローチの必要性を再確認する。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 25 日 中村逸郎 人文社会系】 [激変するロシア外交] ロシアは 2012 年以降、中国との連携を深める一方で、中東、欧米に影響力を拡大しています。ロシアのねらいは、どこにあるのか。激動の国際情勢をロシアの動向から分析します。</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 大友貴史 人文社会系】 [アメリカと国際政治] その力は相対的に低下していると言われているが、アメリカは現在の国際関係を考えるうえで重要なアクターであることには変わりはない。本講義では、アメリカの国力を様々な視点から捉え、特に安全保障問題における役割や影響等について議論する。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 16 日 ティムール・ダダバエフ 人文社会系】 [国際関係におけるシルクロードの概念 - 中国、ロシア、日本の外交政策における「シルクロード」の比較] 本講義は日本、中国とロシアの中央アジア外交政策の特徴とシルクロード地域と言われる中央アジアに対する外交政策の分析に対象を絞り、これらの特徴、発展過程と比較可能な部分の対比などを分析の目的とする。特に、中央アジア諸国と日本、中国とロシアの間にみられる協力をどのように概念化すべきか。これらの協力関係に影響を及ぼす要因はなにか。本講義はこれらの問いを取り上げ分析する。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 23 日 シャルボワ・ジャスティン 人文社会系】 [Language, Culture, and Communication] This lecture will focus on the dynamic relationship between language, culture, and communication. An individual's unique way of speaking or conversational style is influenced by factors such as culture, gender, and geographic background. This lecture will investigate how such factors surface in language and impact various communicative contexts.</p>		

	<p>第6回【5月30日 木下太志 人文社会系】 [世界の人口問題をどのように理解するのか?] 現在、世界が抱える問題の中には、少子高齢化、急激な人口増加、人口移動、環境問題など、人口と関連するものが少なくない。本講義では、このような問題をよりよく理解するため、過去の研究成果(主に理論的なもの)を踏まえつつ、現状を詳しく分析していく。</p> <hr/> <p>第7回【6月6日 関根久雄 人文社会系】 [相対化の時代] グローバル化の進行と文化の衝突という、冷戦以後の時代における特徴的な現象を人類的視点から考察する。</p> <hr/> <p>第8回【6月13日 前川啓治 人文社会系】 [グローバル化とマクドナルドから考える] グローバル化には種々の側面があるが、この講義ではグローバル化に関わる文化変容の原理とでもいうものを具体的にマクドナルドなどの事例を挙げて示し、グローバル化やオルタナティブ・グローバル化という視点を提示する。</p> <hr/> <p>第9回【6月20日 柴田政子 人文社会系】 [歴史教育と国際理解] 第二次世界大戦に関する歴史教育の国際比較をもとに、教育を通じた国際相互理解の促進について具体的事例をもとに考察する。</p> <hr/> <p>第10回【6月27日 吉田脩 人文社会系】 [国際関係と法] 変動し続ける国際社会において、主権国家、国際機構、国家が抱える諸問題について、具体的な事例を挙げつつ、法の視点から考える。</p> <hr/> <p>第11回【7月4日 黒川義教 人文社会系】 期末試験</p>
履修条件	出席を重視する。「国際学を学ぶII」とあわせて履修することが望ましい。 *国際総合学類生の受講は認めない。
成績評価方法	評価方法(評価割合)及び評価基準 A:出席状況(20%)・・・毎回出席をとる。 B:学期末試験(80%)・・・持込不可。 到達目標1(国際社会の諸問題に対する意識を深めることができる。) Aを「重視」、Bを「重視」 到達目標2(国際社会の諸問題の解決のための、取組の実施について理解することができる。) Aを「重視」、Bを「重視」 到達目標3(今後のより良い国際社会の構築に向けて、必要とされていることを考える能力を養うことができる。) Aを「重視」、Bを「重視」
授業外における学習方法	必要に応じて指示する。
教材・参考文献	各講義担当者が授業中に個別に指示する。
オフィスアワー・連絡先	mailにて連絡 黒川義教 kurokawa.yoshi.fw@u.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッセージ	さまざまな学問的アプローチに対する知的好奇心をもって受講してください。



授業科目名	「知ること」とは何か I		
科目番号	1B01011	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 2
担当教員	土井 裕人		
授業概要	<p>学問とは、何かを知る営みである。しかし、「知ること」とはいったい何かと問われると、われわれは案外それを「知らない」のではないか。人が物事を知ることの意味や構造、その限界などについて、主に哲学の立場から考察し、伝統的な思想や宗教のなかで紡ぎだされてきた「知」に対する思索や、他の人文諸科学や認知科学の提示する「知」へのアプローチなどを紹介しつつ、「知ること」について問い直してみたい。</p>		
備考	(人文開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・異分野入門の科目		
教育目的	<p>学問とは、何かを知る営みである。しかし、「知ること」とはいったい何かと問われると、われわれは案外それを「知らない」のではないか。人が物事を知ることの意味や構造、その限界などについて、主に哲学の立場から考察し、伝統的な思想や宗教のなかで紡ぎだされてきた「知」に対する思索や、他の人文諸科学や認知科学の提示する「知」へのアプローチなどを紹介しつつ、「知ること」について問い直してみたい。</p>		
到達目標	<p>(1) 各講義で取り上げられた概念について、自分の言葉で説明できる。  (2) (1) を踏まえて、自分の見解を展開できる。</p>		
キーワード	宗教学, 西洋古代思想, 先入観, 宗教哲学, プラトン, 仏教, インド思想		
各回授業計画	<p>第 1 回【4 月 18 日 土井裕人 人文社会系】  [西洋古代の宗教思想における知]  古代ギリシアの文献を中心に取り上げ、一見すると縁遠いように思われるかもしれない宗教的知と哲学的知について、両者の交差するところを考える。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 25 日 土井裕人 人文社会系】  [西洋古代の宗教思想における知]  古代ギリシアの文献を中心に取り上げ、一見すると縁遠いように思われるかもしれない宗教的知と哲学的知について、両者の交差するところを考える。</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 保呂篤彦 人文社会系】  [宗教における知]  「信じること」と「知ること」との関係や、宗教的言明の合理性、宗教において言語が果たす機能など、宗教認識論と関連する諸問題を、主に現代の宗教哲学における議論を紹介しつつともに考える。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 16 日 保呂篤彦 人文社会系】  [宗教における知]  「信じること」と「知ること」との関係や、宗教的言明の合理性、宗教において言語が果たす機能など、宗教認識論と関連する諸問題を、主に現代の宗教哲学における議論を紹介しつつともに考える。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 23 日 久保徹 人文社会系】  [古代ギリシアの知識観]  人間にとって知とは何か。科学技術と倫理の乖離は必然なのか。古代ギリシアの知識観に照らして、知の本来的なあり方としての知の全体性と内発性について考察する。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 30 日 久保徹 人文社会系】  [古代ギリシアの知識観]  人間にとって知とは何か。科学技術と倫理の乖離は必然なのか。古代ギリシアの知識観に照らして、知の本来的なあり方としての知の全体性と内発性について考察する。</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 6 日 佐久間秀範 人文社会系】  [仏教のものの見方考え方]  我々は目で見ているものがそのまま実在すると信じている。果たしてそうだろうか。我々の脳は五感の能力に応じて外界の情報を概念化し、概念化された情報をさらに取捨選択して、自分に都合のよい表象を創造している。しかもそれが真実だと考えている。仏教は修行により概念を超えたあるがままの姿を「あるがままに見る」ことを基本としている。それは・・・</p>		

	<p>第8回【6月13日 佐久間秀範 人文社会系】 [仏教のものの見方考え方] 我々は目で見ているものがそのまま実在すると信じている。果たしてそうだろうか。我々の脳は五感の能力に応じて外界の情報を概念化し、概念化された情報をさらに取捨選択して、自分に都合のよい表象を創造している。しかもそれが真実だと考えている。仏教は修行により概念を超えたあるがままの姿を「あるがままに見る」ことを基本としている。それは・・・</p> <hr/> <p>第9回【6月20日 小野基 人文社会系】 [インド思想における知] 古代インド人が著した宗教・哲学文献を手掛かりにして、彼らが人の「知る」という営みをどのように理解したかを探る。</p> <hr/> <p>第10回【6月27日 小野基 人文社会系】 [インド思想における知] 古代インド人が著した宗教・哲学文献を手掛かりにして、彼らが人の「知る」という営みをどのように理解したかを探る。</p> <hr/> <p>第11回【7月4日 土井裕人 人文社会系】 [期末試験]</p>
履修条件	「「知ること」とは何かⅡ」、「「知ること」とは何かⅢ」も履修することで、総合的な理解が得られる。
成績評価方法	定期試験(50%)・・・課題に対しての展開能力と独創性を求める。授業内容や資料を単に引き写しただけの答えは評価しない。 授業への参加姿勢(50%)・・・各回の授業に参加した後、manabaにて期限内に課題を提出することで本項目を評価する。
授業外における学習方法	manabaにて復習を行い、課題を提出すること。また、講義で言及された参考文献を積極的に読むこと。
教材・参考文献	教科書は指定しない。参考文献は各講義担当者が個別に指示する。
オフィスアワー・連絡先	随時(メールによる事前予約) 月:応相談 火:5限 水:応相談 金:6限終了後 人文社会学系棟 A819 doi at logos.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッセージ	問題意識をもって授業に真摯に参加してほしい。授業において真摯な参加態度が見られない場合、その後の履修を認めない。

授業科目名	民族の世界Ⅰ 食文化と民族Ⅰ		
科目番号	1B01111	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 2
担当教員	谷口 陽子		
授業概要	民族の世界Ⅰでは、とくに日本列島および東アジアの食文化について考察する。私たち人間にとって生の根源である食とそれにまつわる食文化は、民族によって実に多様で、そこには豊かな世界が形成されている。世界各地の食文化を紹介しながら、「食」をキーワードに民族性やその背後にある文化にまで迫り、他者や異文化、そして自己を理解するための機会としたい。		
備考	(人文開設) 西暦偶数年度開講。 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	「食」を通して民族性や文化、他者や異文化、そして自己を理解する。		
到達目標	1. 日本を含む東アジアの食文化を歴史的背景との関連で理解する 2. 日本を含む東アジアの食文化の多様性について理解を深める 3. 日本を含む東アジアの食文化の検討から自己に対する理解を深める		
キーワード	食, 文化, 民族, 多様性, 価値観		
各回授業計画	<p>第 1 回【4 月 18 日 谷口陽子 人文社会系】 [食と文化] 食文化から見えてくる民族の歴史やその多様性について解説し、本講義の導入とする。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 25 日 浪川健治 人文社会系】 [列島の北の食と地域文化] 日本列島の北、現在の地理概念からすると東北・北海道の食とその文化を手がかりとして、地域の目から江戸時代を考える。</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 武井基晃 人文社会系】 [台湾の祭りと食] 台湾の廟の祭りで神仏や靈魂に供えられる料理と生け贄、祭典に参加した人々にふるまわれる料理を検討する。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 16 日 武井基晃 人文社会系】 [台湾の日常と食] 日常の食を支える屋台や夜市、独特の果物や嗜好品(茶、ピンロウ)などから台湾の食生活について論じる。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 23 日 滝沢誠 人文社会系】 [日本原始・古代の食文化 (1)] 狩猟採集を生業の基本とする縄文文化から水稻農耕が開始された弥生文化にかけて、日本列島の食文化はどのように変化したのかを考古学的資料にもとづいて考える。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 30 日 滝沢誠 人文社会系】 [日本原始・古代の食文化 (2)] 縄文時代から奈良時代にかけての土器や木製品を手がかりとして、原始・古代における食事方法の変遷について考える。</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 6 日 山澤学 人文社会系】 [日光の社寺と食文化 (1)] 近世日本の食文化を、世界遺産「日光の社寺」における神事・法会の供物を事例に、宗教社会史的観点から考察する。</p> <hr/> <p>第 8 回【6 月 13 日 山澤学 人文社会系】 [日光の社寺と食文化 (2)] 近世日本における食文化を、前回講義で取り上げた供物の生産・流通を事例に、社会経済史的観点から考察する。</p> <hr/> <p>第 9 回【6 月 20 日 丸山宏 人文社会系】 [古代中国の食文化] 中国における食文化の歴史について考察する。主食、調味料、調理法、食事の取り方、宗教思想との関連性等の変遷を論じる。</p>		

	<p>第10回【6月27日 上田裕之 人文社会系】 [近世中国の人口爆発と食] 中国の人口爆発は清代(1644~1912)に始まった。本講義では、その経緯を「食」の側面から解説する。</p> <hr/> <p>第11回【7月4日 谷口陽子 人文社会系】 期末試験</p>
履修条件	特になし
成績評価方法	A:定期試験(75%)... 講義内容の理解 B:出席率(25%)...2/3以上の出席
授業外における学習方法	参考文献などをよく読み、理解を深める
教材・参考文献	授業内で適宜配付、提示する 1. 常木晃(編)『食文化 歴史と民族の饗宴』悠書館
オフィスアワー・連絡先	火:11:30-14:00, 木:15:00-16:00 人文社会学系棟 B104 taniguchi.yoko.fu at u.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッセージ	食というきわめて身近な事象の中に、文化や民族を理解するための重要な手がかりが潜んでいることに気づき、食文化に対する認識を新たにして欲しい

授業科目名	現代社会の基盤ができたとき 欧米の18~19世紀文学をとおして考える		
科目番号	1B02271	単位数	1.0単位
標準履修年次	1・2年次	時間割	春 AB月2
担当教員	鷲津 浩子, 中田 元子, 武井 隆道, ヘーゼルハウス, ヘラト		
授業概要	現代社会の基盤は、18~19世紀の欧米で形作られたといっても過言ではないだろう。たとえば、自然科学、近代医学、心理学、法律学、政治学、社会学、犯罪学などは、この時代に誕生している。また、テクノロジーの発展、知識の大衆化、女性の社会進出など、現代社会の問題と重なる部分も多い。そこで、この時期のドイツ、イギリス、アメリカの文学・文化を通して現代社会を考え直してみよう。		
備考	(比文開設) 西暦偶数年度開講。 【受講制限数 120名】		
授業形態	講義		
科目群	B:精神、文化、社会、歴史に関わる総合科目		
水準・区分	100番台・異分野入門的科目		
教育目的			
到達目標	欧米の18~19世紀の文学作品を通じて、現代社会の基盤がいかに形成されたか、そしてそれが現代社会にどのような影響を与えているかを考える。		
キーワード	現代社会の基盤, 18~19世紀, ドイツ, イギリス, アメリカ		
各回授業計画	<p>現代社会の基盤は、18~19世紀の欧米で形作られたといっても過言ではないだろう。たとえば、自然科学、近代医学、心理学、法律学、政治学、社会学、犯罪学などは、この時代に誕生している。また、テクノロジーの発展、知識の大衆化、女性の社会進出など、現代社会の問題と重なる部分も多い。そこで、この時期のドイツ、イギリス、アメリカの文学・文化を通して現代社会を考えなおしてみよう。</p> <p>第1回【4月18日 鷲津浩子 人文社会系】 [序論] 欧米18~19世紀文学を通して見えるもの</p> <hr/> <p>第2回【4月25日 武井隆道 人文社会系】 [18世紀中葉の啓蒙思想と身体イメージとの関係 (1)] 18世紀には社会の大きな変動(産業革命、フランス革命等)と同期して、時間、空間、身体認識に根本的な変化が見られた。その態を美術の領域において探る。</p> <hr/> <p>第3回【5月9日 武井隆道 人文社会系】 [18世紀中葉の啓蒙思想と身体イメージとの関係 (2)] 18世紀の身体観を文学と舞踊において探る。ゲーテにおける身体表現の特徴並びに当時のパレ工論から、近代の出発点であるこの時代において、身体とは何であったのかを論じる。</p> <hr/> <p>第4回【5月16日 中田元子 人文社会系】 [19世紀イギリスのテクノロジーの発展と女性の社会進出 (1)] 19世紀イギリスにおけるテクノロジーの発展と女性の領域の拡大について概観を得る。</p> <hr/> <p>第5回【5月23日 中田元子 人文社会系】 [19世紀イギリスのテクノロジーの発展と女性の社会進出 (2)] テクノロジーの発展による女性の仕事の領域の拡大をトロープ「電信局の娘」にみる。</p> <hr/> <p>第6回【5月30日 中田元子 人文社会系】 [19世紀イギリスのテクノロジーの発展と女性の社会進出 (3)] テクノロジーの発展による女性の移動の自由の獲得をギッシング『余った女たち』にみる。</p> <hr/> <p>第7回【6月6日 鷲津浩子 人文社会系】 [19世紀アメリカの産業革命(テクノロジー)および犯罪(学)(1)] 都市型犯罪の特徴と犯罪学・法医学の萌芽について概観する。</p> <hr/> <p>第8回【6月13日 鷲津浩子 人文社会系】 [19世紀アメリカの産業革命(テクノロジー)および犯罪(学)(2)] エドガー・アラン・ポウ「黒猫」をとりあげて、都市型犯罪(学)を論じる。</p> <hr/> <p>第9回【6月20日 ヘーゼルハウス、ヘラト 人文社会系】 [スティーヴンソン『ジキル博士とハイド氏』の免疫学・心理学 (1)] 使用言語は英語 The lecture takes Robert Louis Stevenson's short story "Strange Case of Dr. Jekyll and Mr. Hyde" (1885) as an example to show how literature can creatively reflect on and critically discuss scientific innovative development. The focus will be on immunology and psychoanalysis.</p>		

	<p>第 10 回【6 月 27 日 ヘーゼルハウス、ヘラト 人文社会系】          [スティーヴンソン『ジキル博士とハイド氏』の免疫学・心理学 (2)] 使用言語は英語          The lecture takes Robert Louis Stevenson's short story "Strange Case of "Dr. Jekyll and Mr. Hyde" (1885) as an example to show how literature can creatively reflect on and critically discuss scientific innovative development. The focus will be on immunology and psychoanalysis.</p> <hr/> <p>第 11 回【7 月 4 日】          試験</p>
履修条件	なし
成績評価方法	期末試験 (80%)+ 出席状況 (20%)
授業外における学習方法	授業で取り上げられた作品や紹介された文献を読み、現代社会の基盤について考える。
教材・参考文献	授業時に担当者が資料を配布する。
オフィスアワー・連絡先	<p>鷺津浩子 火:4 時限          人文社会学系棟 A509 washizu.hiroko.gp@u.tsukuba.ac.jp          中田 元子 nakada.motoko.ge at u.tsukuba.ac.jp          武井 隆道 月:5 時限 火:3 時限 水:午後は会議 木:3 時限          人文社会学系棟 A711 4171 takei.takamichi.ft at u.tsukuba.ac.jp          ヘーゼルハウス、ヘラト 水:午後は会議 木:オフィスアワー 12:45-13:45          人文社会学系棟 A510 herrad at ga2.so-net.ne.jp</p>
履修者へのメッセージ	社会は常に変化している。これから先どこに行くのか曖昧な今、現代社会の基盤が造られた 18-19 世紀の文学作品を通じて、時代や社会について考えることには意義があるだろう。

授業科目名	戦争と文化		
科目番号	1B02311	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 2
担当教員	海後 宗男, 畔上 泰治, 仲田 誠, 白戸 健一郎		
授業概要	破壊を旨とする戦争をわれわれは、創造を旨とする文化の敵対者としてとらえがちである。だが、両者をたんなる対立関係においてしまうと、戦争がいかに文化と地続きであり、文化がいかに野蛮を内包しているかを、見落とすことになりかねない。この科目は、情報文化学的視点からネット、メディア、映画や TV、さらには先端文化学的視点からさまざまな人間のありようのなかに、戦争と文化はいかにからみあい身を潜ませているのかを考る。		
備考	(比文開設) 西暦偶数年度開講。 【受講制限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B:精神、文化、社会、歴史に関わる総合科目		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的			
到達目標	1 戦争と文化について学ぶ 2 メディアの中の戦争について学ぶ 3 情報文化学・先端文化学的視点について学ぶ		
キーワード	情報文化学, 先端文化学		
各回授業計画	<p>第 1 回【4 月 18 日海後宗男 人文社会系】 [戦争と文化とは] 戦争と文化について考える。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 25 日 海後宗男 人文社会系】 [戦争と文化] 近年の戦争と文化について考える。</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 仲田誠 人文社会系】 [戦争映画に見る日本人論] 日本の戦中の戦争映画をみて、日本人にとって戦争とは何かについて考える。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 16 日 仲田誠 人文社会系】 [検閲された日本映画] 戦前、戦中の軍によって検閲された日本映画を見て、とは何か考える。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 23 日 畔上泰治 人文社会系】 [20 世紀の世界大戦 (1)] 20 世紀に起きた二つの世界大戦が戦後社会に与えた影響について考える。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 30 日畔上泰治 人文社会系】 [20 世紀の世界大戦 (2)] 20 世紀に起きた二つの世界大戦が戦後社会に与えた影響について考える。</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 6 日 福原直樹 筑波大学】 [戦争報道 (1)] 戦地での記者の行動規範を考える。</p> <hr/> <p>第 8 回【6 月 13 日 福原直樹 筑波大学】 [戦争報道 (2)] 実際の戦地取材の経験から考える。</p> <hr/> <p>第 9 回【6 月 20 日 白戸健一郎 人文社会系】 [総力戦とメディア文化 (1)] 総力戦期 (第一次世界大戦・第二次世界大戦) のメディアをとりあげ、そのメディア政策や社会的機能、歴史的意義を探る。</p> <hr/> <p>第 10 回【6 月 27 日白戸健一郎 人文社会系】 [総力戦とメディア文化 (2)] ひきつづき総力戦期のメディアをとりあげ、そのメディア政策や社会的機能、歴史的意義を探る。</p>		

	<p>第 11 回【7 月 4 日海後宗男 人文社会系】 [期末試験] 戦争と文化に関して得た知識について問う。</p>
履修条件	事前に資料を読み、学ぶことに積極的であること。
成績評価方法	A:期末試験 (80%) 授業内容を的確に把握していること。到達目標を重視する。 B:授業への貢献度 (20%) 授業に積極的に参加していること。
授業外における 学習方法	授業で取り上げられた資料を理解する。
教材・参考文献	1. 授業時に指示する。
オフィスア ワー・連絡先	海後 宗男 水 11:30~12:15 (要 ア ポ) mkaigo at japan.tsukuba.ac.jp <a href="http://japan.tsukuba.ac.jp/mkaigo/">http://japan.tsukuba.ac.jp/mkaigo/</a>
履修者へのメッ セージ	受講に関しまして、以下のことを守ってください:1) 授業中に私語をしない、2) 無断で早退しない、3) 授業中に、授業に関係ない物を使用しない、4) 無断で携帯電話等、授業に関係のない電子機器を使用しない、5) 他の学生と協調し、調和を乱さない、6) 迷惑行為をしない。これら事項に反する行為がありましたら、即時退室と成績の減点になります。



授業科目名	社会の表象 社会学データ入門		
科目番号	1B04111	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 2
担当教員	五十嵐 泰正		
授業概要	社会学はこれまで多様なデータを取り扱うなかで、多様な社会事象を記述し分析してきた。この授業では、近代社会・現代社会とその表象に関連するいくつかの主題を手掛かりに、社会学が取り扱う多様なデータについて、それらの読解方法を交えつつ紹介する。		
備考	【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台、異分野入門的科目		
教育目的	社会学はこれまで多様なデータを取り扱うなかで、多様な社会事象を記述し分析してきた。それらの多様なデータは社会的なものを表象する機能を果たしている。社会学とは、それが社会への視線/社会からの視線という二重のまなざしを抱え込む限りで、社会的に構成されるそれらのデータを同じく社会的に読み解く営為に他ならない。この授業では、表象と現代社会、統計データと社会、映像やメディアにおけるジェンダー秩序、都市のイメージとその変遷、美術館・博物館における事物の秩序といった一連のトピックを手掛かりに、社会学が取り扱う多様なデータについて、それらの読解方法を交えつつ紹介する。		
到達目標	1 社会学が社会への視線/社会からの視線の二重性に貫かれた学問であることを理解する。 2 社会学が取り扱うデータの多様性とそれらの読解方法について理解する。		
キーワード	表象と社会, 統計と社会, ロマンティックな理想とジェンダー, 都市のイメージ, 事物の秩序		
各回授業計画	<p>第 1 回【4 月 18 日 葛山泰央 (人文社会系)】 [表象と現代社会 (1) ミシェル・ウェルベック『服従』を読む] 現代社会において宗教と社会とが織り成す関係について、表象としての文学作品を読み解きつつ考察する。 【文献】ミシェル・ウェルベック『服従』(河出書房新社)</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 25 日 葛山泰央 (人文社会系)】 [表象と現代社会 (1) ミシェル・ウェルベック『服従』を読む] 現代社会において宗教と社会とが織り成す関係について、表象としての文学作品を読み解きつつ考察する。 【文献】ミシェル・ウェルベック『服従』(河出書房新社)</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 森 直人 (人文社会系)】 [統計データを語ること (1)「総中流」社会の表象をめぐって] 「総中流」社会をめぐる議論を題材に統計データとそれを通じて社会を語ることとの関係それ自体を社会的に問い返す。 【文献 1】東浩紀・北田暁大編『思想地図』NHK 出版, vol.2 所収、森論文 【文献 2】吉川徹『現代日本の「社会の心」』有斐閣</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 16 日 森 直人 (人文社会系)】 [統計データを語ること (2)「総中流」社会の表象をめぐって] 「総中流」社会をめぐる議論を題材に統計データとそれを通じて社会を語ることとの関係それ自体を社会的に問い返す。 【文献 1】東浩紀・北田暁大編『思想地図』NHK 出版, vol.2 所収、森論文 【文献 2】吉川徹『現代日本の「社会の心」』有斐閣</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 23 日 樽川典子 (人文社会系)】 [メディア作品の世界] 「白雪姫」「眠れる森の美女」等のアニメーションを素材に、ロマンティックな理想が表現する秩序を、ジェンダーの視点から読み解く。 【文献】若桑みどり『お姫様とジェンダー』ちくま新書。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 30 日 樽川典子 (人文社会系)】 [“善なる”報道の世界] 報道は女性の何を伝え、何を伝えないのか。震災報道にひそむロマンティックな理想を検討し、その問題点を考える。</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 6 日 五十嵐泰正 (人文社会系)】 [都市の表象 (1)] 「下町」という曖昧なイメージの変遷を、戦災、高度成長やグローバル化などの各時期の社会背景や観光パンフレットの表象、都市政策の展開から考える。 【文献 1】伊藤守編『文化の実践、文化の研究』せりか書房所収、五十嵐論文 【文献 2】梶田孝道編『新・国際社会学』名古屋大学出版会所収、五十嵐論文</p>		

	<p>第8回【6月13日 五十嵐泰正(人文社会系)】  [都市の表象(2)]  前週の議論を踏まえ、商品化された「下町」と生きられるの相克を、台東区・上野を舞台に検討する。  【文献1】『社会学ジャーナル』33号、五十嵐論文  【文献2】岩淵功一編『多文化社会のを問う』青弓社所収、五十嵐論文</p> <hr/> <p>第9回【6月20日 五十嵐泰正(人文社会系)】  [社会の表象と言説]  これまでの授業内容で学んだ社会を表象する際のさまざまな問題系を踏まえ、受講学生たちの関心をみながら、アップトゥデートなトピックに関する講義を行う。</p> <hr/> <p>第10回【6月27日 五十嵐泰正(人文社会系)】  [期末考査]  これまでの授業内容に関して、選択・論述式の期末考査を行う。</p>
履修条件	履修希望者が多数の場合には、1・2年生の履修を優先する。
成績評価方法	授業内容をふまえ、最終試験で具体的な事例を整理した論述70%、授業内での課題の理解、企画力、展開力30%で合計100%。
授業外における学習方法	各週の担当者が適宜指示する。
教材・参考文献	1. なし
オフィスアワー・連絡先	各担当者に、授業後アポイントについて相談すること。
履修者へのメッセージ	なし

授業科目名	経営の科学 I		
科目番号	1B17031	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 2
担当教員	渡邊 真一郎		
授業概要	ファイナンス (金融工学の基礎となる, 金融とファイナンスの学問的「常識」を, いくつかの具体的トピックに触れつつ, 出来るだけ日常的な感覚として捉えられるように努めながら説明する。) 会計学 (会計学の導入部分である簿記と, 簿記で作成される貸借対照表・損益計算書の読み方・分析方法を解説する。)		
備考	(社工開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	【前半】大学の卒業生が, 新聞を読んで「お金」に関する記事の概要を正しく理解するために必要な知識、及び銀行預金を含めた「投資」において, 詐欺を含めたリスクに対して最低限持つべき知識をカバーする。 【後半】会計学の導入部分である財務諸表の作成手順, つまり簿記の知識と, 財務諸表の構造・役割等について解説する。		
到達目標	1 大学の卒業生としての最低限度の常識を理解すること 2 企業の経営成績を表す損益計算書, 財政状態を表す貸借対照表の基本的な作成方法を理解し, 企業の財務状態を安全性, 収益性の観点から分析することができる。		
キーワード	ファイナンス, 資金調達, 金融, 投資, 貸借対照表, 損益計算, 売り上げ原価, 収益性, 安全性		
各回授業計画	<p>経営の科学 I は, 前半のファイナンス (担当: 岸本一男) 及び後半の会計学 (担当: 星 法子) によって構成される。各分野について基礎的な知識を提供する予定です。</p> <p>第 1 回【4 月 18 日 岸本一男 システム情報系】 [日常生活とファイナンス]</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 25 日 岸本一男 システム情報系】 [企業の資金調達]</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 岸本一男 システム情報系】 [国の中でのお金の流れ]</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 16 日 岸本一男 システム情報系】 [投資の科学]</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 23 日 岸本一男 システム情報系】 [中間テスト]</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 30 日 星法子 白鷗大学大学院経済学研究科】 [会計の意義と基礎・貸借対照表と損益計算書の役割と構造]</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 6 日 星法子 白鷗大学大学院経済学研究科】 [簿記一巡・貸借対照表と損益計算書の作成方法]</p> <hr/> <p>第 8 回【6 月 13 日 星法子 白鷗大学大学院経済学研究科】 [経営分析 1: 収益性の分析]</p> <hr/> <p>第 9 回【6 月 20 日 星法子 白鷗大学大学院経済学研究科】 [経営分析 2: 安全性の分析]</p> <hr/> <p>第 10 回【6 月 27 日 星法子 白鷗大学大学院経済学研究科】 [筆記試験]</p>		
履修条件	ファイナンスと会計学に興味をもっていること。		
成績評価方法	中間テスト (50%) および期末テスト (50%) の得点にもとづき評価を行う。		
授業外における学習方法	授業で学習したことについての復習を怠らないこと。		
教材・参考文献	T.B.A. (第 1 回目の授業でアナウンスする)		
オフィスアワー・連絡先	T.B.A. (第 1 回目の授業でアナウンスする)		
履修者へのメッセージ	経営学の基礎的な理解を深めてください。		

授業科目名	経済学入門 II		
科目番号	1B17041	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 2
担当教員	ターンブル スティーヴェン		
授業概要	現代社会では携帯電話から進化した「スマートホン」という万能の携帯端末を持って各種ソーシャルネットワーク(SNS)に参加することが普通になった。SNS は人間関係にどんな影響を与えるか?情報ネットワークはどんな仕組みであるか?ソーシャルネットワークと交通ネットワークと電信ネットワークなど各種ネットワークの共通点と特徴を明らかにし、社会での役割と効果を考察する。		
備考	(社工開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	経済に含まれたあらゆるネットワークの構造と働きを直感的に理解できるようになること		
到達目標	1. ネットワークの経済学の基本的概念・考え方の習得 2. ネットワークの経済学の事例の学習 3. ネットワークの経済学にもとづいて社会・経済現象を理解する力の育成		
キーワード	経済学, 複雑さ, 情報ネットワーク, 人間ネットワーク		
各回授業計画	<p>ネットワークの経済学の基本的概念・考え方を事例をもとに進める。 第 1 回【4 月 18 日 ターンブル・スティーヴェン・ジョン システム情報系】 [あなたもリンクだらけ!] 人間はネットワークの中の存在であり、その多様性と効果を見てみよう</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 25 日 ターンブル・スティーヴェン・ジョン システム情報系】 [ネットワークの経済学と伝統的な経済学の違い] 市場・企業・行政の伝統的な分析の役立つ分野と役立つ分野、ネットワーク外部性</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 ターンブル・スティーヴェン・ジョン システム情報系】 [シミュレーションと複雑さ] ネットワークの分析にシミュレーション法の有効性、シミュレーション法の特徴</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 16 日 ターンブル・スティーヴェン・ジョン システム情報系】 [ネットワークの統計] ノード、リンク、とパスを数えてネットワークの社会への効果を計る</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 23 日 ターンブル・スティーヴェン・ジョン システム情報系】 [ネットワーク上に流れる「もの」] 交通ネットワーク、ブラエスの逆説、光の速度で流れる電力と電信のネットワーク</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 30 日 ターンブル・スティーヴェン・ジョン システム情報系】 [ネットワーク上に流れる「情報」:第一部] 大規模な情報ネットワーク「インターネット」、ポータル、検索エンジン</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 6 日 ターンブル・スティーヴェン・ジョン システム情報系】 [ネットワーク上に流れる「情報」:第二部] 情報ネットワークのマイクロ分析:IoT、セキュリティー、決済システム</p> <hr/> <p>第 8 回【6 月 13 日 ターンブル・スティーヴェン・ジョン システム情報系】 [実物の世界のソーシャルネットワーク] リンクの強さ、ネットワークの統合と分裂、「飲みニケーション」など</p> <hr/> <p>第 9 回【6 月 20 日 ターンブル・スティーヴェン・ジョン システム情報系】 [バーチャル世界のソーシャルネットワーク] SNS: Facebook、Twitter、LinkedIn、ソーシャルゲーム等</p> <hr/> <p>第 10 回【6 月 27 日 ターンブル・スティーヴェン・ジョン システム情報系】 [情報ネットワーク上のバーチャルコミュニティ] インターネットとバーチャルコミュニティの発展:オープンソースソフトウェア開発</p> <hr/> <p>第 11 回【7 月 4 日 ターンブル・スティーヴェン・ジョン システム情報系】 [期末試験]</p>		
履修条件	特になし		
成績評価方法	課題 (40%), テスト (60%)		

授業外における学習方法	日頃の行動や意思決定の仕方や関連する新聞記事などに関心を持つこと
教材・参考文献	適宜指示する <a href="http://turnbull.sk.tsukuba.ac.jp/Teach/IntroEconII/">http://turnbull.sk.tsukuba.ac.jp/Teach/IntroEconII/</a> を参照
オフィスアワー・連絡先	授業時に発表
履修者へのメッセージ	ネットワークの経済学は新しい学問であり、発展途上にあります。ただ、社会の中に置かれた人間の行動を理解する上では面白い発見がされています。また、情報ネットワークにより発生する「ビッグデータ」が社会経済へ大きな影響を与えながら「ビッグビジネス」にもなりつつある。

授業科目名	文学と映像作品の中の図書館		
科目番号	1B20021	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 2
担当教員	溝上 智恵子		
授業概要	文学作品や映像メディアに表現された図書館像を通じて、図書館の歴史や現代社会における図書館・図書館員の役割について紹介する。		
備考	(知識開設) 知識情報・図書館学類学生の受講は認めない。 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	想像してみてください。ブラッド・ピットが図書館のカウンターに寄りかかっている姿を。想像してみてください。ハリソン・フォードが図書館の地下から秘密の通路に入る姿を。図書館がそこにあるだけで、そのシーンが鮮やかに浮かび上がってきませんか。図書館は文学と映像の中で常に印象的な姿を示してくれます。この講義では、図書館が登場する名シーンを再現し、その裏にある諸事情を学術的観点から解説しようというものです。		
到達目標	1. 現代社会における図書館の役割を理解し、利用法を身につける 2. 図書館の歴史と社会を関連づけることができる		
キーワード	図書館, 情報		
各回授業計画	<p>第 1 回【4 月 18 日 溝上智恵子 図書館情報メディア系】 [大学図書館では恋が芽生えるか?] 「キューティー・ブロンド」など、大学生活を描く欧米の映画で大学図書館の役割を考えよう。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 25 日 溝上智恵子 図書館情報メディア系】 [メディアに誤解される図書館] 「スター・ウォーズ」などの米国映画や日本のテレビ局が描く図書館像を題材に、メディアと図書館の関係を考えよう</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 呑海沙織 図書館情報メディア系】 [図書館員の仕事] 図書館員である「ハムナプトラ」のヒロインは、自分の専門能力を上司に訴える。知識情報社会における図書館員の専門能力について考えよう。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 16 日 呑海沙織 図書館情報メディア系】 [図書館で探す] 「キャリア」や「スーパーナチュラル」を題材に、図書館で探すための仕組みがどのように構築されているのかについて学ぼう。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 23 日 歳森敦 図書館情報メディア系】 [図書館に集まる資料] 「ショーシャンクの空に」の主人公は刑務所の図書室に蔵書を増やすため何をしたらろう? 図書館の蔵書構成について学ぶ。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 30 日 歳森敦 図書館情報メディア系】 [図書館で知る] 「クレヨンしんちゃん」のお父さんは、野原一族の歴史を図書館で調べた。資料調査の方法と支援サービスについて学ぼう。</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 6 日 松林麻実子 図書館情報メディア系】 [図書館の自由] 「図書館戦争」などを題材に、知る権利・知る自由を守るという図書館の役割と責任を理解しよう。</p> <hr/> <p>第 8 回【6 月 13 日 松林麻実子 図書館情報メディア系】 [図書館とプライバシー] 「セブン」や「耳をすませば」などを題材に、図書館業務において注目される機会が多いプライバシー問題を考えよう。</p> <hr/> <p>第 9 回【6 月 20 日 白井哲哉 図書館情報メディア系】 [歴史の中の図書館] 「薔薇の名前」や「チャングムの誓い」などを題材に、図書や図書館をめぐる歴史像を学ぼう。</p>		

	<p>第10回【6月27日 白井哲哉 図書館情報メディア系】 [社会の中の図書館] 「鋼の錬金術師」などを手がかりに、映画・小説・マンガの場面や設定から社会における図書館・文書館・博物館などの位置と機能を考えよう。</p> <hr/> <p>第11回【7月4日 松林麻実子 図書館情報メディア系】 [期末試験]</p>
履修条件	知識情報・図書館学類学生の受講は認めない。
成績評価方法	定期試験 100%(2/3以上の出席を必要条件とする)
授業外における学習方法	事前学習は特に必要ありませんが、講義中に紹介する参考図書などで講義後により深く学習することを期待します。
教材・参考文献	<p>1. 飯島朋子, 映画の中の本屋と図書館, 日本図書刊行会, 2004, 162p.  2. 飯島朋子, 映画の中の本屋と図書館 後篇, 日本図書刊行会, 2006, 222p.  (共に講義構成上の参考文献であり教科書ではありません)</p>
オフィスアワー・連絡先	火3限 7B316(研究科長室) mizoue at slis.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッセージ	生活の中で図書館を使うだけでなく、もう一歩踏み込んで図書館について学習しよう!

授業科目名	こころの構造と病理		
科目番号	1B21201	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 2
担当教員	斎藤 環		
授業概要	心の病から精神の構造を解き明かす精神病理学と精神分析、および天才の創造の秘密を探る病跡学に関する講義。		
備考	(医学開設) 【受入上限数 350 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	精神医学はさまざまな理論と方法論が雑居する「人間の科学」であり、その領域も広範囲に及んでいる。「病」の側から眺めるとき、「心」は日常とは異なった相貌を垣間見せてくれるだろう。この講義では、精神医学における複数の理論的な枠組みを紹介しつつ、「心」について考えることの難しさと楽しさを学ぶ。自分とは無関係な他者ではなく、自分の中にも潜在する他者としての「病」を理解することを目指す。		
到達目標	1 精神疾患についての理解と「自らも罹りうる病」という視点からの寛容性と倫理性の獲得。 2 精神医学における複数の考え方とその相互関係を学ぶ。 3 メンタルヘルスの問題についての基本的な対応と考え方を学ぶ。		
キーワード	精神分析, 精神病理学, システム論, 病跡学, 芸術療法, ひきこもり, トラウマ, 自傷, 依存症, コミュニティケア		
各回授業計画	<p>第 1 回【4 月 18 日 斎藤 環 医学医療系 社会精神保健学】 [精神分析とジェンダー] 精神分析の基本的な考え方について学び、男女の性差 (ジェンダー) について精神分析的視点から理解する。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 25 日 斎藤 環 医学医療系 社会精神保健学】 [精神病理学とは何か] 統合失調症やうつ病などの心理メカニズムを学びながら、精神病理学の基礎的な理論を理解する。</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 斎藤 環 医学医療系 社会精神保健学】 [病跡学と芸術療法] さまざまな分野の天才における精神疾患と「表現」の関係性を理解し、その治療的な応用法を紹介する。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 16 日 斎藤 環 医学医療系】 [精神医学と脳科学] 「脳」と「心」は切り離すことはできないが、まったく同じものでもない。精神薬理や遺伝学を通じてその関係を理解する。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 23 日 斎藤 環 医学医療系 社会精神保健学】 [思春期・青年期のメンタルヘルス] 不登校、ひきこもり、若年性のうつ病、人格障害、発達障害など、若い世代のメンタルヘルスについて理解する。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 30 日 斎藤 環 医学医療系 社会精神保健学】 [震災とトラウマ] 大きな天災が起こると、そのショックや喪失体験から、PTSD やうつ病などの問題が生じる。東日本大震災を中心に、被災者のメンタルヘルスについて理解する。</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 6 日 斎藤 環 医学医療系 社会精神保健学】 [自傷と自殺] 似ているようで異なる自傷と自殺の心理を理解し、どのような働きかけが予防的であるかを知る。</p> <hr/> <p>第 8 回【6 月 13 日】 休講</p> <hr/> <p>第 9 回【6 月 20 日 斎藤 環 医学医療系 社会精神保健学】 [精神療法入門] 森田療法から認知行動療法まで、さまざまなタイプの精神療法について知り、「心」を支えるための基本的考え方を学ぶ。</p>		



	<p>第 10 回【6 月 27 日 齋藤 環 医学医療系 社会精神保健学】 [コミュニティとメンタルヘルス] 施設収容型からコミュニティケアへと移行しつつある精神医療の現場を、ケアのモデルについて理解する。</p> <hr/> <p>第 11 回【7 月 4 日 齋藤 環 医学医療系 社会精神保健学】 [期末試験なし] レポート提出</p>
履修条件	なし
成績評価方法	<p>A:レポート (60%) B:出席 (40%) 到達目標 1 A を「より重視」 到達目標 2、3 A を「重視」</p>
授業外における学習方法	この領域に関心を持った入門書を一冊以上通読する。
教材・参考文献	齋藤環『生き延びるためのラカン』(ちくま文庫) その他は授業にて随時紹介する。
オフィスアワー・連絡先	<p>火曜日午後 総合研究棟 D 720 号室 内線 3099 tamaki@md.tsukuba.ac.jp</p>
履修者へのメッセージ	少しでも興味を持ったら関連書籍や文献を読み、メールでも直接でも遠慮なく質問をしてください。

授業科目名	オリンピック		
科目番号	1B24071	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 2
担当教員	嵯峨 寿, 真田 久		
授業概要	国立競技場やエンブレム問題など 2020 年東京オリンピックのホスト国として心配が絶えないが、これまでもオリンピックは様々な問題に直面してはそれを乗り越え今日に至っている。敢えてオリンピック史における暗部に触れることで現状を相対化すると共に、4 年後に向けて緊張と展望が持てるようにしたい。		
備考	(体育開設) 【受入上限数 150 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	近代オリンピック 120 年の歴史は栄光と名誉ばかりで彩られているわけではない。戦争の深い傷跡、テロによる悲劇、選手や役員らによる不正行為、開催国・都市が見舞われた財政問題など、オリンピックがこれまでに直面した深刻な事件や悲運、不名誉な出来事ばかりを敢えて並べてみたのも、平和を標榜するオリンピックの欺瞞を暴くためではない。4 年後に控えた東京大会はじめオリンピックの成否はメダル獲得数に限らずもっと多面的な観点より評価・判定されるべきであり、では、どんな観点が重要であるかを考えてみたいからである。		
到達目標	1 近代オリンピック史における汚点について説明できるようになる。 2 1 を踏まえ、これからのオリンピックの持続的発展にとって何が重要か意見を述べられるようになる。 3 2020 東京オリンピック・パラリンピックの課題を指摘できるようになる。		
キーワード	オリンピズム, オリンピアド, オリンピック・ムーブメント, オリンピック・レガシー		
各回授業計画	<p>第 1 回【4 月 18 日 嵯峨 寿 体育系】 [オリエンテーション] 18 回目を迎える本科目の今年度のねらいや学習課題などを確認し、これからの講義に対する意欲と関心を高めよう。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 25 日 後藤光将 明治大学】 [ヒトラーと東京] 平和を訴え政治利用を拒否しながらも抗えない時もあった。ヒトラー政権下のベルリン大会とそれに続く東京大会の史的考察。</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 成瀬和弥 体育系】 [テロの標的] 世界的注目に伴いテロリストに利用される恐れが高まった。1972 年ミュンヘン大会の悲劇はいかにして引き起こされたか。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 16 日 木越清信 体育系】 [ドーピングの広がり] ロシア陸連の事件を例に、選手本人へのダメージにとどまらない各方面へのドーピングの深刻な影響の広がりを見渡す。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 23 日 真田 久 体育系】 [古代オリンピックの栄華と衰亡] 1169 年間続き、293 回開かれた古代オリンピック。その栄枯盛衰を通して近代オリンピックの歩みと未来を顧みる。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 30 日 福原直樹 人文社会系】 [IOC スキャンダル] 役員汚職はサッカー界だけに限らず過去にオリンピックでもあった。その解決策が生み出した新たな問題にも触れたい。</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 6 日 嵯峨 寿 体育系】 [オリンピズムの冒涇] 金メダルのためとはいえ敗戦を競ったバドミントン界の「無気力試合」が近代オリンピック史に残した汚点を検証する。</p> <hr/> <p>第 8 回【6 月 13 日 嵯峨寿 (荒牧亜衣) 体育系】 [開催都市の十字架] 石油危機のあおりで財政破綻したモントリオール市の 30 年におよぶ負債返済までの道程に、さて何が見えてくるだろうか。</p>		

	<p>第9回【6月20日 田中伸彦 東海大学】 [新・国立競技場問題] 建設費ばかりが話題に上るスポーツの聖地だが、明治神宮外苑という神域に位置するがゆえに問題はそれほど単純ではないはず。</p> <hr/> <p>第10回【6月27日 調整中】 [カーニバルの闇] サッカー W 杯開催からわずか2年後に開催されるリオ大会。ブラジルの国勢や世論など今どのような状況にあるのだろうか。</p> <hr/> <p>第11回【7月4日 期末試験 嵯峨寿 体育系】 期末試験を行う。</p>
履修条件	NO・KIDS(K:携帯いじり、I:飲食、D:惰眠、S:私語)を約束・厳守できる者に限り受講を認める。
成績評価方法	出席:1点×10回 出席1回につき1点(10%) 出席票裏面レポート(毎時):5点×10回 優5、良4、可3、並2、劣1、不可0(50%) 期末試験もしくはレポート:各目標への到達度を測る試験もしくはレポート(40%)
授業外における学習方法	新聞、テレビ等で報道されるオリンピック関連の情報を積極的に触れ、授業で学んだことを友人や家族など周囲に語ることを。
教材・参考文献	教科書は特に指定しない。参考文献は各授業において講師が紹介する。
オフィスアワー・連絡先	嵯峨 寿 <a href="mailto:saga@taiiku.tsukuba.ac.jp">saga@taiiku.tsukuba.ac.jp</a>
履修者へのメッセージ	オリンピックについて専門的に学べる環境を生かし、2020年までにオリンピックについて語れるようになるう!

授業科目名	デザインと暮らし		
科目番号	1B25011	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 2
担当教員	野中 勝利		
授業概要	デザインに何が出来るのか? 身近な暮らしや地域社会との関わりから、デザインの可能性、展開、課題を講述する。		
備考	(芸術開設) 芸術専門学群学生の受講は認めない。 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	デザインに何が出来るのか? 社会との関わりについて、各専門領域の視点からデザインの可能性を探る。 特に環境デザインの観点から講義を行う。		
到達目標	地域社会や生活環境におけるデザインにおいて、その果たすべき役割や責任について関係づけるとともに、興味・関心が発展できるようになる。		
キーワード	デザイン, 生活環境, 環境デザイン		
各回授業計画	<p>第 1 回【4 月 18 日 野中勝利 芸術系】 [地域のデザイン] 地域にあるデザインについて、その特性や課題について解説する。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 25 日 野中勝利 芸術系】 [まち並みとデザイン] まち並みや景観形成について、その特性や課題について解説する。</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 鈴木雅和 芸術系】 [庭園のデザイン] 日本庭園・英国風景式庭園の特徴と、それが現代のランドスケープデザインにつながる共通性について解説する。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 16 日 鈴木雅和 芸術系】 [公園のデザイン] 庭園が公園化した歴史的背景と、現代社会が必要としている公園のデザインのあり方について解説する。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 23 日 渡和由 芸術系】 [住宅地の計画とデザイン 1] 持続可能な居住地の空間的デザインについて、日米の事例をもとに解説する。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 30 日 渡和由 芸術系】 [住宅地の計画とデザイン 2] 持続可能な居住地のマネジメントとデザインについて、日米の事例をもとに解説する。</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 6 日 山田博之 芸術系】 [社会とデザイン] 近代社会の産業構造とデザインの役割、ユニバーサルデザインについて解説する。</p> <hr/> <p>第 8 回【6 月 13 日 山田博之 芸術系】 [イノベーションとデザイン] インターネット環境がもたらしたデザインの変化と、デザインによるイノベーションについて解説する。</p> <hr/> <p>第 9 回【6 月 20 日 橋本剛 芸術系】 [快適性のデザイン] 快適な生活環境とは何か? 建築・都市デザインと人間の快適性の関係について、その概要を解説する。</p> <hr/> <p>第 10 回【6 月 27 日 橋本剛 芸術系】 [デザインとエネルギー] デザインと環境問題の関係について、生活環境におけるエネルギーの使用という観点から解説する。</p>		

	第 11 回【7 月 4 日】 [期末試験]
履修条件	芸術専門学群学生の受講は認めない。
成績評価方法	期末試験
授業外における 学習方法	授業で取り上げたデザインの対象や問題について、身近な生活環境において確認するなどして、 問題意識を深めること。
教材・参考文献	必要に応じて授業中に紹介する。
オフィスア ワー・連絡先	特に定めないが、事前連絡をしてから訪問すること。
履修者へのメッ セージ	遅刻 2 回は欠席 1 回として扱う。

授業科目名	日本の歴史		
科目番号	1B26511	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 2
担当教員	山澤 学		
授業概要	日本の歴史について、各時代の重要なトピックを取り上げ、学修する。		
備考	(比文開設) 履修は、留学生および外国滞在期間 5 年以上の帰国生徒に限る。 【受講制限数 40 名】		
授業形態	講義		
科目群	B 群		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	1. 具体的な事例の学習を通じ、日本の歴史に関する基礎的知識を修得する。 2. 日本の歴史の学習を通じ、世界各国における社会・文化の独自性と共通性に対する理解を深める。 3. 日本の歴史への認識を深め、現代社会における諸問題を発見・解決する能力を養う。		
到達目標	1. 日本の歴史に関する基礎的知識を列記することができる。 2. 日本および世界各国における社会・文化の独自性と共通性を論理的に示すことができる。 3. 日本の歴史への認識を深め、現代社会における諸問題を発見・解決することができる。		
キーワード	日本, 歴史, 社会, 文化, 世界史的視野, 現代社会		
各回授業計画	<p>第 1 回【4 月 18 日 山澤 学 人文社会系】 [原始・古代: 日本の誕生] 日本列島の形成と、旧石器~古墳時代の社会について概観する。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 25 日 三谷芳幸 人文社会系】 [古代: 古代国家の成立と展開] 飛鳥・奈良・平安時代の国家の特質を、他の東アジア諸国との関係から論じる。</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 山澤 学 人文社会系】 [中世: 武家政治のはじまり] 鎌倉~室町時代における武家政治とその社会の特徴について講ずる。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 16 日 山澤 学 人文社会系】 [近世: 江戸時代前半の文化と社会] 江戸時代の前半期、とくに寛永文化・元禄文化を生み出した政治・社会・経済について講ずる</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 23 日 浪川 健治 人文社会系】 [近世: 江戸時代後半の文化と社会] 江戸時代の後半期、とくに文政から天保期の社会と文化について、四世鶴屋南北と歌川国芳を取り上げて講ずる。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 30 日 中西 僚太郎 人文社会系】 [近世・近代: 17 世紀から 19 世紀の社会と経済] 江戸時代から明治初期にかけての人口の変化と社会・経済との関わりについて講ずる。</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 6 日 中野目 徹 人文社会系】 [近代: 日本の近代とは何か] 近代の始期と時期区分、東アジアにおける日本の近代社会の特質について論じる。</p> <hr/> <p>第 8 回【6 月 13 日 伊藤 純郎 人文社会系】 [近代: 昭和戦前期の日本] 昭和戦前期の日本の歴史を、アジア・太平洋戦争に焦点をあて、民衆と生活の視点から述べる。</p> <hr/> <p>第 9 回【6 月 20 日 朴 宣美 人文社会系】 [現代: 現代の日本] 日本現代史 (終戦以後) の流れや特徴について理解を深める。</p> <hr/> <p>第 10 回【6 月 27 日 山澤 学 人文社会系】 [まとめ] 講義全体を総括し、日本の歴史に対する認識を深める。</p> <hr/> <p>第 11 回【7 月 4 日 山澤 学 人文社会系】 [期末試験]</p>		
履修条件	外国人留学生及び海外滞在 5 年以上の帰国生徒に限る。		
成績評価方法	A: 期末試験 (60%)... 理解, 応用力, 創造性。 B: 授業内提出物 (40%)... 授業への興味・関心, 理解, 考察力。		

授業外における学習方法	授業で取り上げられた問題について、各講義担当者から紹介された資料・文献を精読しつつ復習すること。
教材・参考文献	教材は、とくに指定しない。参考文献は各講義担当教員から適宜、紹介する。
オフィスアワー・連絡先	火:15:00~16:30。それ以外にも事前連絡により対応可能。 yamasawa.manabu.fm at u.tsukuba.ac.jp <a href="http://www.histanth.tsukuba.ac.jp/member/yamasawa.html">http://www.histanth.tsukuba.ac.jp/member/yamasawa.html</a>
履修者へのメッセージ	単に授業を聞き流すのではなく、受講者自らが問題意識を明確に持ち、独自に考察を深めてもらいたい。

授業科目名	日本の生活文化		
科目番号	1B03511	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 火 2
担当教員	朴 宣美		
授業概要	ジェンダーや少数民族の視点から、日本の社会と文化を考察・討論する。		
備考	(日開設) 外国人留学生及び帰国生徒に限る。平成 27 年度以前に (7200151) の単位を既に取得している学生は履修不可。 【受入上限数 20 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的			
到達目標	日本人の家族観・ジェンダー意識、近年の新しい文化現象、マイノリティ問題について理解を深める。		
キーワード	文化現象, ジェンダー意識, マイノリティ問題		
各回授業計画	<p>日本国民の意識調査に関するデータや映像資料・文献資料を用いて、日本人の家族・生活関連意識、ジェンダー意識、近年の文化現象、マイノリティ問題を取り上げる。</p> <p>第 1 回【4 月 19 日 朴 宣美 人文社会系】 [ガイダンス]</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 26 日 朴 宣美 人文社会系】 [日本人の家族観]</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 2 日 朴 宣美 人文社会系】 [日本人のジェンダー意識]</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 10 日 朴 宣美 人文社会系】 [日本社会における女性への差別や暴力問題]</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 17 日 朴 宣美 人文社会系】 [日本社会における新しい文化現象・社会現象 (若者文化、新性別役割分担意識など)]</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 24 日 朴 宣美 人文社会系】 [日本社会における新しい文化現象・社会現象 (格差、少子化、非婚化など)]</p> <hr/> <p>第 7 回【5 月 31 日 朴 宣美 人文社会系】 [日本におけるマイノリティ問題 (在日朝鮮人社会の形成について)]</p> <hr/> <p>第 8 回【6 月 7 日 朴 宣美 人文社会系】 [日本におけるマイノリティ問題 (在日朝鮮人社会が抱える様々な問題について)]</p> <hr/> <p>第 9 回【6 月 14 日 朴 宣美 人文社会系】 [受講者発表]</p> <hr/> <p>第 10 回【6 月 21 日 朴 宣美 人文社会系】 [まとめ]</p>		
履修条件	外国人留学生及び帰国生徒に限る。 平成 27 年度以前に (7200151) の単位を既に取得している学生は履修不可。		
成績評価方法	日常点 (50 点):出席、発表、討論等 学期末レポート (50 点)		
授業外における学習方法	配布資料を事前に読むこと。		
教材・参考文献	渡辺秀樹『現代日本の社会意識 家族・子ども・ジェンダー』慶応義塾大学出版会、2005 年 徐京植『在日朝鮮人ってどんな人』平凡社、2012 年		
オフィスアワー・連絡先	火曜日 3 限目		
履修者へのメッセージ	自分の問題意識を持つこと。積極的に討論すること。		



授業科目名	日本の芸術とその鑑賞		
科目番号	1B25511	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 火 5
担当教員	上北 恭史		
授業概要	日本の歴史的な生活様式、宗教、都市にかかわる芸術を通して、日本の芸術の特色を解説する。		
備考	(芸術開設) 外国人留学生及び帰国生徒に限る。【受入上限数 20 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	日本の生活を形成してきた芸術の所産として、歴史的建築物や都市の形成、宗教や伝統芸能について講述し、日本の芸術の特色について解説する。		
到達目標	日本の歴史的な都市の京都や奈良を訪れたとき、歴史的建築物や仏像などを自ら鑑賞して理解していく能力を獲得する。また大陸の文化の交流を通して日本に形成されてきた芸術の背景を理解し、伝統文化や芸術活動の特色について分析していく視点を身につける。		
キーワード	歴史的建造物, 歴史的都市, 仏教文化, 伝統芸能		
各回授業計画	<p>第 1 回【4 月 19 日 上北恭史 芸術系】 [大陸からの文化の流入] 縄文時代から弥生時代にかけて形成されてきた定住による日本の生活文化の基本を概括する。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 26 日 上北恭史 芸術系】 [日本の古都の形成と木造建造物] 大陸から伝えられた建築技術によって作られた古都平安京について説明する。</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 2 日 上北恭史 芸術系】 [古民家の見学] つくば市中央公園のさくら民家園に保存されている旧吉田家住宅の見学を行い、北関東地方に残る民家の特徴について理解する。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 10 日 上北恭史 芸術系】 [仏教文化の伝播] 大陸から伝えられた仏教文化により建設された寺院や伽藍について説明する。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 17 日 上北恭史 芸術系】 [仏像の種類とみかた] 天平時代から平安時代にかけて作られた仏像の特徴について説明し、仏像の鑑賞方法について理解する。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 24 日 上北恭史 芸術系】 [和様建築の発達 (寝殿造りと貴族文化)] 日本の和洋文化の形成とともに発達した寝殿造りと生活様式について説明する。</p> <hr/> <p>第 7 回【5 月 31 日 上北恭史 芸術系】 [数寄屋建築と茶室] 数寄屋建築の事例として桂離宮について説明する。また茶室の特徴を講述する。</p> <hr/> <p>第 8 回【6 月 7 日 上北恭史 芸術系】 [江戸のまちと武家文化] 武家による江戸のまちづくりと武家の生活様式について説明する。</p> <hr/> <p>第 9 回【6 月 14 日 上北恭史 芸術系】 [江戸時代の生活様式] 町家や長屋で営まれていた庶民の文化について説明する。</p> <hr/> <p>第 10 回【6 月 21 日 上北恭史 芸術系】 [芸能と生活空間] 江戸時代に発達した歌舞伎などの芸能について説明する。</p>		
履修条件	外国人留学生及び帰国学生に限る。		
成績評価方法	出席、およびレポート。		
授業外における学習方法	事前に資料で基礎知識を得てから実物を見に行くこと。		
教材・参考文献	授業時に配付する。 1. カラー版日本史図説、東京書籍株式会社		

オフィスアワー・連絡先	木 10:00~12:00(要事前連絡) uekita at heritage.tsukuba.ac.jp <a href="http://www.heritage.tsukuba.ac.jp/faculty01.php?catid=19&amp;blogid=4">http://www.heritage.tsukuba.ac.jp/faculty01.php?catid=19&amp;blogid=4</a>
履修者へのメッセージ	大学外に出かけていき、芸術作品や文化財の本物を積極的にみてほしい。

授業科目名	言語の万華鏡 II		
科目番号	1B01061	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 1
担当教員	平井 明代		
授業概要	世界規模で画一が進む現代において言語文化の多様性を意識する意味はかつてないほど大きい。さまざまな言語文化を歴史的・社会的な視点から考察することにより、異文化を尊重し、相違を認め合う視点を涵養する。		
備考	(人文開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B 精神、文化、社会、歴史に関わる総合科目		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	人間の知識・能力の中で最も複雑で根源的であると言われる「言語」を多彩な角度から見渡し、角度によって変化する言語研究の妙を楽しむ。「言語の万華鏡 II」では、言語比較の観点も取り入れ、日頃意識することの少ない日本語の姿を再認識するとともに、多様な言語文化の本質を観取することを目指す。		
到達目標	1. 母語だけでなく母語以外の言語と言語文化についても学び、その多様性と普遍性を認識する。 2. 比較の観点から、言語と言語文化へのアプローチの可能性を探る。 3. 高校までの学習と大学における研究の違いを意識し、自ら問題を探求する姿勢を身につける。		
キーワード	言語文化, 言語比較, 日本語, 英語, ドイツ語, フランス語, ロシア語, 中国語		
各回授業計画	<p>第 1 回【10 月 3 日 矢澤真人 人文社会系】 [国語辞典と日本語 IME] 日本語の現場を支える二つのツール、国語辞典と日本語変換システムを題材に、ことばの近代化・現代化について考える。</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 17 日大倉浩 人文社会系】 [五十音図と 46 種の仮名] 五十音図と日本語の仮名表記との関係を、現代からさかのぼって考察する。逆さ言葉の実例から、日本語の音の単位のとらえ方を実感し、明治以前の五十音図などを紹介して歴史をたどる。</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 24 日 住大恭康 人文社会系】 [日独語を使用した発話の特徴] 類似した場面で、あるいは類似した内容に関して発話する場合の、日独語における表現上の差異を比較検討する。</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 31 日 宮腰幸一 人文社会系】 [日英語比較研究入門] 身近な英語表現を出発点に、対応する日本語表現との比較・対照を交えながら、日英語の興味深い特徴をいくつか紹介し、そこから生まれる言語学的問題とその分析方法を概説する。</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 8 日 (振替授業日) 渡邊淳也 人文社会系】 [フランス語の語彙の特異性] 他の言語と比較したとき、フランス語の語彙の特異性はきわだっている。名詞を中心として、その特異性はどのようなものであるか、そしてどのような経緯を経て形成されてきたかを見る。</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 14 日 山田博志 人文社会系】 [フランス語はどのような言語か] フランス語はどのような言語か。発音、語彙、文法、および、その歴史、話されている地域など、いろいろな角度からフランス語を紹介する。グローバル化する世界の中で多 (複) 言語主義の持つ意味についても考えたい。</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 21 日 白山利信 人文社会系】 [ロシアの言語文化] 民芸品や食文化を含めてロシア語と日本語の意外な関わりなどについてロシアと日本の文化接触という視点から検討する。</p> <hr/> <p>第 8 回【12 月 5 日 佐々木勲人 人文社会系】 [中国の言語と文化] 中国は 56 の民族からなる他民族国家である。さまざまな民族が共存していく上で、中国が直面している問題点を言語文化の側面から概説する。</p>		

	<p>第9回【12月12日 大塚秀明 人文社会系】 [日本語の中の中国語・中国語の中の日本語] 中国語履修者だけでなく未習者にも分かりやすく、外国語になった日本語と日本語に入った外国語としての中国語を分かりやすく講義する。</p> <hr/> <p>第10回【12月19日 伊原大策 人文社会系】 [異文化における「こちら」と「あちら」] 空間は物理的な距離によって客観的に存在しているにもかかわらず、社会によってその認識方法が異なる。異文化・異言語によってどのように異なるかを考える。</p> <hr/> <p>第11回【12月26日 平井明代 人文社会系】 [期末試験]</p>
履修条件	言語の万華鏡Ⅰも合わせて受講すると、言語に関してより総合的な理解が得られる。
成績評価方法	出席と授業への参加度(約20%)、期末試験(各回の授業内容に対する理解度、授業で紹介された文献を読み、自ら学んだかを含む)の成績(約80%)を総合して評価する。
授業外における学習方法	毎回の授業で紹介された資料や文献を読み解き、自ら問題を探求する姿勢を身につける。
教材・参考文献	教科書は使用しない。毎回の授業でハンドアウトを配布し、参考文献を紹介する。
オフィスアワー・連絡先	科目責任者: 平井明代 オフィスアワー: 月5(メールで要予約。hirai.akiyo.ft@u.tsukuba.ac.jp)
履修者へのメッセージ	与えられたものだけをこなすという高校までの学習スタイルから脱皮し、自ら問題を探求する姿勢を身につけてください。

授業科目名	現代の文化と文学 「境界線」を超える文学		
科目番号	1B02291	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 1
担当教員	平石 典子, 青柳 悦子, 吉原 ゆかり		
授業概要	現代の文学は、時代、言語、地域、メディアといった様々な「境界線」を超えた文化現象として生成されている。多言語地域の最新の文学動向や、古典文学と映像、マンガ、ゲームの関係など、テキストの交錯を広く見渡ししながら、現代の文学と文化について考察する。		
備考	(比文開設) 西暦偶数年度開講。 【受講制限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	多言語地域の最新の文学動向や、古典文学と映像、マンガ、ゲームの関係など、テキストの交錯を広く見渡すことによって、時代、言語、地域、メディアといった様々な「境界線」について知り、それを超えた文化現象としての現代文学について考察することができるようになること。		
到達目標	1 現代文化におけるテキストの交錯について知る。 2 文学作品をめぐる文化や社会についての知識を深める。 3 授業で得た知識を生かし、作品について考察する。		
キーワード	文学, 時代, 地域, 言語, メディア		
各回授業計画	<p>第 1 回【10 月 3 日 平石 典子 人文社会系】 イントロダクション</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 17 日 平石 典子 人文社会系】 [ダンテ『神曲』と現代文化 (1)] 14 世紀初頭に書かれた『神曲』を概観し、その特徴を考察するとともに、どのように読み替えられ、語り継がれているかを紹介する。</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 24 日 平石 典子 人文社会系】 [ダンテ『神曲』と現代文化 (2)] 『神曲』が現代文化のさまざまなジャンルの中で再生されている様相を考察する。</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 31 日 青柳 悦子 人文社会系】 [北アフリカの現代文学 (1)] チュニジアおよびアルジェリアの社会状況を見据えながら、この地域から生まれる現代文学と文化について紹介する。</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 8 日 青柳 悦子 人文社会系】 [北アフリカの現代文学 (2)] チュニジアおよびアルジェリアの社会状況を見据えながら、この地域から生まれる現代文学と文化について紹介する。</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 14 日 吉原 ゆかり 人文社会系】 [シェイクスピアは退屈か?(1)] 現代若者文化でシェイクスピア作品が模倣される・パロディにされるケースをとりあげ、文化序列とそれに対する反抗について考える。</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 21 日 吉原 ゆかり 人文社会系】 [シェイクスピアは退屈か?(2)] 現代若者文化でシェイクスピア作品が模倣される・パロディにされるケースをとりあげ、文化序列とそれに対する反抗について考える。</p> <hr/> <p>第 8 回【12 月 5 日】 [越境するメロドラマ (1)] 18 世紀末のフランス大革命期に新興の大衆的演劇ジャンルとして興隆し、その後「飛び跳ねる魚」(H. ジェイムズ)のように国境、メディア、ジャンルを超えて生命を保ち続ける「メロドラマ」について、舞台・映像作品を取り上げて講義する。</p> <hr/> <p>第 9 回【12 月 12 日】 [越境するメロドラマ (2)] 18 世紀末のフランス大革命期に新興の大衆的演劇ジャンルとして興隆し、その後「飛び跳ねる魚」(H. ジェイムズ)のように国境、メディア、ジャンルを超えて生命を保ち続ける「メロドラマ」について、舞台・映像作品を取り上げて講義する。</p>		

	<p>第 10 回【12 月 19 日 平石 典子 人文社会系】 まとめ</p> <hr/> <p>第 11 回【12 月 26 日 平石 典子 人文社会系】 期末試験</p>
履修条件	特になし。受講希望者が多い場合は受講調整が行われる。
成績評価方法	論述試験による。
授業外における学習方法	扱われる作品を読んでもらうこと。また、作品や事象について事前に何らかの形で予備知識を得ておくことが望ましい。
教材・参考文献	manaba 上の資料を各自必ず授業に持参すること。その他参考文献については、開講時、各授業時に適宜指示する。
オフィスアワー・連絡先	
履修者へのメッセージ	文学作品を通して現代の文化を考えてみましょう。

授業科目名	日本とは何か II		
科目番号	1B03021	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 1
担当教員	中込 睦子		
授業概要	ひとくちに「日本文化」あるいは「日本文化の特色」といっても、その内実は地域ごとに様々である。この授業では、人々の生活文化の多様性について民俗学と地理学の立場から考察し、多様性に富む「日本文化」への理解を深める。		
備考	(日開設) 日本語・日本文化学類学生の履修を認めない。 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	「日本文化」とひとくりにされがちなこの列島の生活文化について、その多様性と地域的特色に着目しつつ、民俗学と地理学の立場から考察を加える。地域ごとに異なる人々の暮らしぶりをどのような手法でとらえるのか、その多様性の意味をどう解釈するのか。具体的な事例から学んでいきたい。		
到達目標	日本の生活文化と景観について、地域的多様性および通時の変化をふまえて理解する。		
キーワード	餅なし正月, 文化領域, 社会組織の地域類型, 周圏論, 種族文化複合論, 景観, 生活文化, 都市, 村落, 花街, 地域イメージ, 世界遺産		
各回授業計画	<p>1 回目から 5 回目までを中込睦子 (歴史・人類学専攻)、6 回目から 10 回目までを加藤晴美 (産業技術高専) が担当する。</p> <p>第 1 回【10 月 3 日 中込睦子 人文社会系】 [日本文化の多様性 (1)] 正月の儀礼食の地域差から、日本文化・社会の多様性について考える。</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 17 日 中込睦子 人文社会系】 [日本文化の多様性 (2)] 様々な指標に基づく、日本の領域区分 (文化領域) について考える。(1)</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 24 日 中込睦子 人文社会系】 [日本文化の多様性 (3)] 様々な指標に基づく、日本の領域区分 (社会組織の地域類型) について考える。(2)</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 31 日 中込睦子 人文社会系】 [日本文化の多様性 (4)] 日本文化・社会の地域差をどのように解釈するかについて考える。(1) 周圏論</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 8 日 (振替授業日) 中込睦子 人文社会系】 [日本文化の多様性 (5)] 日本文化・社会の地域差をどのように解釈するかについて考える。(2) 種族文化複合論</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 14 日 加藤晴美 文教大・非】 [日本における景観の多様性 (1)] 生活文化という観点から、日本における都市・村落景観の特性とその多様性について考える。</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 21 日 加藤晴美 文教大・非】 [日本における景観の多様性 (2)] 遊興空間に着目し、近世日本の都市景観と生活文化について考える。(1) 遊郭と花街</p> <hr/> <p>第 8 回【12 月 5 日 加藤晴美 文教大・非】 [日本における景観の多様性 (3)] 遊興空間に着目し、近世日本の都市景観と生活文化について考える。(2) 盛り場</p> <hr/> <p>第 9 回【12 月 12 日 加藤晴美 文教大・非】 [日本における景観の多様性 (4)] 地域イメージに着目し、日本の「伝統的」な村落景観と生活文化について考える。(1) 山村と「秘境」イメージ</p> <hr/> <p>第 10 回【12 月 19 日 加藤晴美 文教大・非】 [日本における景観の多様性 (5)] 地域イメージに着目し、日本の「伝統的」な村落景観と生活文化について考える。(2) 世界遺産と地域開発</p> <hr/> <p>第 11 回【12 月 26 日 中込・加藤】 期末試験</p>		
履修条件	日本語・日本文化学類生の履修を認めない。		
成績評価方法	定期試験:課題に関する理解度と論理性・創造性 出席状況:三分の二以上の出席		

授業外における 学習方法	身の回りにある生活文化・ふるさとの風景などの来歴や意味を考えてみること。
教材・参考文献	授業時に適宜紹介する。
オフィスア ワー・連絡先	授業担当教員 中込睦子 nakagomi.mutsuko.ft@u.tsukuba.ac.jp 世話人教員 中込睦子 nakagomi.mutsuko.ft@u.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッ セージ	ステレオタイプな思考に陥らないで、独自の見解を展開するように努めてほしい。



授業科目名	法学入門		
科目番号	1B04101	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 1
担当教員	守田 智保子		
授業概要	法学の入門科目として法律知識のない初心者にも理解しやすいように、日常生活とかかわる様々な法について概観し、法的なものを見方を得ることができるようにする。		
備考	(社会開設) 【受入上限数 200 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	憲法、法制史、民事法、刑事法、そして実務の様々な視点から、我々の日常生活における出来事について、法的な問題点やそれについての解決策等を検討し、生活と法の具体的ななかかわりあいについて理解する。		
到達目標	基本的な法的知識を習得するとともに、日常生活において生じる様々な出来事における法的問題とそれについての解決策等を、実生活において個人が示すことができるようにする。		
キーワード	若者, 大人, 生活, 選挙権, 取引, 非行, 犯罪, ブラックバイト		
各回授業計画	<p>我々の生活は、法的な問題に満ちあふれている。それは、新聞やニュースで報道される事件や社会的問題だけではない。例えば、学生生活における日常の消費活動、友人との約束、アルバイト、就職活動、そして自動車や自転車での移動などの全てが法的問題を含んでいる。そして、昨今の成人年齢引き下げの議論は、多くの法領域に変化をもたらし、若者たちが法的なものを見方を養うことをますます必要とする。そこで、この講義では、法学の初学者でも理解しやすいように、「若者の生活と法」をテーマとして、オムニバス形式で行う。</p> <p>第 1 回【10 月 3 日 守田 智保子 人文社会系】 なぜ少年法は存在するのか? 若者の非行や犯罪は増えているのか? 厳罰化の必要はあるのか? 少年法の基礎知識を身につけるとともに、これらの問題について考える。</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 17 日 守田 智保子 人文社会系】 同上</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 24 日 辻 雄一郎 人文社会系】 18 歳から選挙権の行使が可能になった。2016 年には参議院選挙が予定されている。現在の選挙権をめぐる議論を中心に、憲法に関する基本的な素養を身につける。</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 31 日 辻 雄一郎 人文社会系】 同上</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 8 日 (振替授業日) 星野 豊 人文社会系】 取引と男女関係について、民法の規定と最近の主な判例とを概説し、今後の社会のあるべき方向性を考えてみる。</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 14 日 星野 豊 人文社会系】 同上</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 21 日 根本 信義 人文社会系】 バイトを休ませて、勝手にシフトを組まれてテスト前でも休ませてもらえなかった、サービス残業をさせられた・・・それはブラックバイトです。その法的規制を知り、きちんと対応できるようにしましょう。</p> <hr/> <p>第 8 回【12 月 5 日 根本 信義 人文社会系】 同上</p> <hr/> <p>第 9 回【12 月 12 日 宮坂 渉 人文社会系】 法制史の観点からは、「若者」とは、身体的には性的成熟に達しながら、精神的には社会経済活動に従事する「大人」として十分な能力を未だに備えていない者、とすることができる。そのような「若者」を法的に特別扱いすることの是非について考察する。</p> <hr/> <p>第 10 回【12 月 19 日 宮坂 渉 人文社会系】 同上</p> <hr/> <p>第 11 回【12 月 26 日】 期末試験</p>		
履修条件	人数制限有り (200 名上限)。		
成績評価方法	筆記テストによる。		
授業外における学習方法	新聞やニュースによる報道に関心を持つほか、日々のさまざまな出来事について法的な観点から関心をもって各自考える習慣を身につけてほしい。		

教材・参考文献	教科書等は指定しない。適宜、レジユメ等を配布する。
オフィスアワー・連絡先	各担当教員から、授業で説明する。
履修者へのメッセージ	身の回りの出来事についても問題意識をもち、積極的な姿勢で取り組んでください。

授業科目名	学校を考える III		
科目番号	1B06031	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 1
担当教員	岡本 智周, 佐藤 博志		
授業概要	「ゆとり批判はどうつくられたのか」「世代論はどう解きほぐせるのか」という問題意識をもって、学校教育、カリキュラム、学力、教育言説、世代論について論究する。		
備考	(教育開設) 人間学群学生の受講は認めない。講義の一部にディスカッションを取り入れるため、受入れ上限数を 80 名とする。 【受入上限数 80 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	「ゆとり批判はどうつくられたのか」「世代論はどう解きほぐせるのか」という問題意識をもって、学校教育、カリキュラム、学力、教育言説、世代論について論究する。自分の経験や他者の経験をふまえつつ、国内外の社会情勢・教育施策・教育学等に関する知見をもとに、「ゆとり教育」「ゆとり世代」概念を相対化し、日本の教育のこれまでの成果と課題および今後の在り方について考察する。		
到達目標	1. 学校教育とその社会的機能に関する基礎知識を習得し、「学校」について多面的に理解できるようになる。 2. 社会情勢をふまえて、学校教育、カリキュラム、学力、教育言説、世代論に関して理解し、考察できるようになる。 3. 「ゆとり教育」「ゆとり世代」概念を相対化し、日本の教育や世代論について論理的に議論できるようになる。		
キーワード	学校教育, カリキュラム, 学力, 教育言説, 世代論, 「ゆとり教育」, 「ゆとり世代」		
各回授業計画	<p>講義を中心に行うが、ディスカッション等も適宜取り入れる。 教科書『「ゆとり」批判はどうつくられたのか』(太郎次郎社エディタス)を使用する。 各回の内容は変更することもある。 第 1 回【10 月 3 日 岡本智周 (人間系)・佐藤博志 (人間系)】 [オリエンテーション] 本授業のねらいと進め方について説明し、授業への導入を図る。</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 17 日 佐藤博志 (人間系)】 [教育施策のコンセプトを読む (1)] 教育行政とカリキュラムの観点から「ゆとり教育」を解説する。</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 24 日 佐藤博志 (人間系)】 [教育施策のコンセプトを読む (2)] 教育行政とカリキュラムの観点から「ゆとり教育」を解説する。</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 31 日 佐藤博志 (人間系)】 [「ゆとり教育」の正体 (1)] 学力の推移の実際を示し、世代論について考える。</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 8 日 佐藤博志 (人間系)】 [「ゆとり教育」の正体 (2)] 学力の推移の実際を示し、世代論について考える。</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 14 日 岡本智周 (人間系)】 [新聞記事にみる「ゆとり」言説の変遷 (1)] 社会的に共有された「ゆとり」像を示し、教育言説について考える。</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 21 日 岡本智周 (人間系)】 [新聞記事にみる「ゆとり」言説の変遷 (2)] 社会的に共有された「ゆとり」像を示し、教育言説について考える。</p> <hr/> <p>第 8 回【12 月 5 日 岡本智周 (人間系)】 [「ゆとり」批判の政治性 (1)] 教育内容の変遷から「ゆとり教育」の実際を解説する。</p> <hr/> <p>第 9 回【12 月 12 日 岡本智周 (人間系)】 [「ゆとり」批判の政治性 (2)] 教育内容の変遷から「ゆとり教育」の実際を解説する。</p>		

	<p>第 10 回【12 月 19 日 岡本智周 (人間系)・佐藤博志 (人間系)】 [まとめ] 授業のまとめを行う (内容等の調整を含む)。</p> <hr/> <p>第 11 回【12 月 26 日 岡本智周 (人間系)・佐藤博志 (人間系)】 [期末試験] 講義内容は継続的に進行するので、安易な欠席は認められない。</p>
履修条件	人間学群学生の受講は認めない。 教育と社会に関する問題に関心があること。学習意欲があること。
成績評価方法	授業への出席:50% 期末試験:50% (受講態度が著しく悪い場合は大幅に減点する)
授業外における学習方法	教育や学校に関するニュースや新聞・雑誌記事などに関心を払い、時事的な教育テーマに関する知見を持つこと。
教材・参考文献	下記の図書 (教科書) を必携とする。 1. 佐藤博志・岡本智周 『「ゆとり」批判はどうつくられたのか 世代論を解きほぐす』 (太郎次郎社エディタ) そのほか、授業において指示する。
オフィスアワー・連絡先	メールで連絡すること。連絡先は授業でお伝えします。
履修者へのメッセージ	学校と社会における経験を振り返り、教育問題についての関心を深めてください。

授業科目名	経営の科学 III		
科目番号	1B17091	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 1
担当教員	渡邊 真一郎		
授業概要	生産管理 (生産管理基礎, 環境問題と現代生産美学)・人間・社会と IT(今後の要所である IT の進化に起因する企業経営や人間・社会のあり様の変貌と未来の展望) を説き, 重要な問題点を認識し, 社会の豊かさの考察を深める。		
備考	(社工開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	商品サービスが企画・開発されてから消費者の手に渡るまでの一連の生産流通プロセスについて、事例のビジネスプロセスフロー分析から、最新の地域社会の活性化問題までを学ぶ。企業内活動に関しては、特に生産・品質管理および企業情報システムを中心に取り上げる。		
到達目標	社会構造や産業構造の激変の時代、経済的变化・個人の価値観の変遷を受け止め、企業のおかれている社会環境や最新事例を知り、ビジネス・プロセスおよび生産流通のあり方について、基礎理論と事例をふまえて理解する。そして、今後の重要な社会的課題を理解し当事者として危機感を共有し、思考すること。		
キーワード	ビジネスプロセス,QFD,VA,DFM, 生産管理, 生産スケジューリング, 品質管理, 社会・環境配慮, サプライ・チェーン		
各回授業計画	<p>経営の科学 III の全講義は有馬澄佳による。</p> <p>第 1 回【10 月 3 日 有馬澄佳 システム情報系】 商品サービスが生産者から消費者の手に渡るまでのビジネスプロセスと課題を紹介し、今後の講義の展開を説明する</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 17 日 有馬澄佳 システム情報系】 [商品サービスの企画・設計: QFD,VA, DFM など]</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 24 日 有馬澄佳 システム情報系】 [生産管理の基礎 (1)] 需要予測、生産計画、工程計画等)、生産方式による重点の相違</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 31 日 有馬澄佳 システム情報系】 [生産管理の基礎 (2) 在庫管理 古典的 vs 現代的問題]</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 8 日 (振替授業日) 有馬澄佳 システム情報系】 [生産管理の基礎 (3) 生産スケジューリング]</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 14 日 有馬澄佳 システム情報系】 [品質管理入門]</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 21 日 有馬澄佳 システム情報系】 [社会・環境配慮の製品設計の説明、研究開発における課題]</p> <hr/> <p>第 8 回【12 月 5 日 有馬澄佳 システム情報系】 [サプライ・チェーン・マネジメントと企業情報システムの歴史的発展]</p> <hr/> <p>第 9 回【12 月 12 日 有馬澄佳 システム情報系】 [2020 年のサプライ・チェーンの課題 -先進国の課題]</p> <hr/> <p>第 10 回【12 月 19 日 有馬澄佳 システム情報系】 [2050 年問題] 日本の地域生活インフラとしての生産流通を考える</p> <hr/> <p>第 11 回【12 月 26 日 有馬澄佳 システム情報系】 [レポート発表] 日本の地域生活インフラとしての生産流通を考える</p>		
履修条件	経営学に対する関心		
成績評価方法	小テストおよび期末テスト (レポート、発表) にもとづき評価を行う。		
授業外における学習方法	授業で学習したことについての復習を怠らないこと。 レポート課題の実施では、チームにおいて自律的・自立的に貢献することが求められる (個人評価として反映される)。		

教材・参考文献	T.B.A. (第1回目の授業でアナウンスする)
オフィスアワー・連絡先	T.B.A. (第1回目の授業でアナウンスする)
履修者へのメッセージ	経営学の基礎的な理解を深めてください。

授業科目名	スポーツ技術を人文社会科学から考える		
科目番号	1B24051	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 1
担当教員	酒井 利信		
授業概要	スポーツの技術について、技術とは何か、ドーピングと倫理、スポーツとルール、スポーツの文化史、スポーツの学び方・教え方、スポーツと心理、日本人の技術観など、人文社会学的側面からアプローチする。		
備考	(体育開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	スポーツの技術について、技術とは何か、ドーピングと倫理、スポーツとルール、スポーツの文化史、スポーツの学び方・教え方、スポーツと心理、日本人の技術観など、人文社会学的側面からアプローチする。		
到達目標	1 スポーツの技術を人文・社会科学的な視点から捉え、関連づけて説明することができる。		
キーワード	スポーツ技術, ルール, 哲学・倫理, 文化史, 心理, 学び方		
各回授業計画	<p>第 1 回【10 月 3 日 深澤浩洋 体育系】 [スポーツ技術の哲学] 「スポーツの技術とは何か」について、スポーツにおける「技」、「スポーツ技能」などとの関わりにおいて、哲学的な立場から考える。</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 17 日 長谷川悦示 体育系】 [スポーツ技術の学び方と教え方] 運動技能を習得していく道筋を解説する。また、これを習得するために有効な下位の学習材や支援装置の作成の仕方、指導者の支援の仕方、技術確認と技能習得との関係などについて、具体的な運動例 (VTR) を見せながら解説する。</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 24 日 齋藤健司 体育系】 [ドーピングをめぐる法と倫理] ドーピング問題について、法的側面や倫理的側面から考える。</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 31 日 岡出美則 体育系】 [スポーツ技術の変化と記録] スポーツの技術は、科学技術の発展に伴い、どのように変化してきているのか。また、それはスポーツをする人や見る人にとってどのような意味を持っているのか、100M 走の記録の変化を例にとって確認していく。</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 8 日 (振替授業日) 中込四郎 体育系】 [スポーツ技術の学習と心理] スポーツ技術の学習では、様々な工夫が心理面からも行われている。そこで本講では、「イメージリハーサル」を取り上げ、効果的な活用法について触れる予定である。</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 14 日 齊藤まゆみ 体育系】 [アダプテッド・スポーツと技術] スポーツをする「人」にあわせてルールや用具の工夫・変更が行われるアダプテッド・スポーツと技術について考える。</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 21 日 嵯峨 寿 体育系】 [スポーツ技術と企業] 用品メーカーなどのスポーツ企業はスポーツ技術にどのような影響を及ぼし、また反対に影響を受けているか、スポーツ技術とビジネスの相関性を具体例に沿って解説する。</p> <hr/> <p>第 8 回【12 月 5 日 李 燦雨 体育系】 [史料から読み解く、中世戦士の攻防の技術文化] 最先端の技術と人類の知識が総動員される戦争に備えた、武具・武術・城塞などの生存を懸けた中世戦士の攻防技術文化のパノラマを見つめながら、歴史からスポーツ戦術の本源を尋ねる。</p> <hr/> <p>第 9 回【12 月 12 日 大石純子 体育系】 [武道の技術観] 日本の武道は特有の技術観を有しているが、これを映像を介して理解し、国際社会における日本人としてのアイデンティティーについて考える。</p>		

	<p>第 10 回【12 月 19 日 佐野 淳 体育系】  [技術習得の原理と方法]  運動現場において、技術習得は中核をなす。この技術習得は運動学的立場からいえば、学習者自身の「創発的身体知」と指導者の「促発的身体知」が複雑に絡み合って進行する。本講では、この「創発的身体知」と「促発的身体知」に焦点をあてて技術習得の問題を考えていく。</p>
履修条件	なし
成績評価方法	A:期末試験(レポート)50% B:授業内課題 50% 評価方法 B-到達目標 1 を「より重視する」
授業外における学習方法	スポーツに関する情報に積極的に関与すること。
教材・参考文献	1. 教科書は指定しないが、各講義の先生から参考文献が紹介される。なお、「序説運動学」(大修館書店)、「スポーツの技術史」(大修館書店)、「スポーツの技術トレーニング」(大修館書店)、「マイネル・スポーツ運動学」,「スポーツの技術のトレーニング」(大修館書店)等が参考となる。
オフィスアワー・連絡先	月曜 1 限 sakai@taiiku.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッセージ	スポーツに知的関心を持ち、各学問分野との関わりについて広く理解して欲しい。



授業科目名	日本の社会		
科目番号	1B26521	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 1
担当教員	明石 純一		
授業概要	日本の社会や政治の仕組み、その特徴について、様々な政策的課題の学習を通じて、理解を深める。		
備考	(社会開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	日本の社会や政治の仕組み、その特徴について、様々な政策的課題の学習を通じて、理解を深める。		
到達目標	1 日本の社会・政治に対する自分なりの問題意識と思考方法を獲得する。 2 日本の社会・政治を分析する際に、どのような点に着目すべきかを学習する。 3 日本の社会・政治を考えるための基本的知識を習得する。		
キーワード	デモクラシー, 公的決定, 日本の政治, 選挙, 外交, イデオロギー, 安全保障, 公共政策, 交通政策		
各回授業計画	<p>第 1 回【10 月 3 日 辻中豊 人文社会系】 「政治とは何か-政治システム、政治体制-」 政治の多様性と普遍性について述べ、政治＝公的決定が生じる、制度的で権力構造的な枠組みについて概説する。</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 17 日 辻中豊 人文社会系】 「日本政治の課題」 現代日本において、いかなる公的決定が必要とされているかを概説し、学生と対話する。</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 24 日 鈴木創 人文社会系】 「日本の選挙 (1)」 日本の選挙のしくみを概観し、主として衆議院選挙について近年の特徴を考察する。</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 31 日 鈴木創 人文社会系】 「日本の選挙 (2)」 同上</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 8 日 松岡完 人文社会系】 「日本の政治的イデオロギー (1)」 政治外交史の立場から、日本人の政治・外交観を形づくってきたイデオロギーを検討する。</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 14 日 松岡完 人文社会系】 「日本の政治的イデオロギー (2)」 第二次世界大戦 (太平洋戦争) 前および戦中のイデオロギー教育を検討する。</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 21 日 南山淳 人文社会系】 「在沖米軍基地と安全保障」 戦後日本の安全保障の問題を日米安保体制と在沖米軍基地の歴史構造の観点から検討する。</p> <hr/> <p>第 8 回【12 月 5 日 講義担当者 南山淳 人文社会系】 「在沖米軍基地とデモクラシー」 普天間基地移設問題を中心に在沖米軍基地が問いかける現代日本のデモクラシーのあり方について考える。</p> <hr/> <p>第 9 回【12 月 12 日 崔宰栄 人文社会系】 「日本の公共政策 (道路交通政策の変遷について)(1)」 戦後、日本の交通政策の変遷について紹介するとともに、基盤施設の老朽化や財源問題など社会的イシューを取り上げ、公共政策のあり方を考える。</p> <hr/> <p>第 10 回【12 月 19 日 崔宰栄 人文社会系】 「日本の公共政策 (道路交通政策の変遷について)(2)」 同上</p> <hr/> <p>第 11 回【12 月 26 日】 [期末試験]</p>		
履修条件	本講義はすべて日本語で行われるので講義理解に必要な最低限の日本語運用能力を要する者。外国人留学生及び帰国生徒に限る。		

成績評価方法	学期末試験に出欠状況を加味する。
授業外における学習方法	毎日、複数の新聞を読むこと。
教材・参考文献	講義時に担当者から指示する。
オフィスアワー・連絡先	随時(要予約) Eメールにより随時 人文社会学系棟 A409 akashi.junichi.fu at u.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッセージ	日常的に日本の社会や政治に対する関心をもって、自分なりの問題意識を向上させていってください。

授業科目名	「知ること」とは何か II		
科目番号	1B01041	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 2
担当教員	土井 裕人		
授業概要	<p>学問とは、何かを知る営みである。しかし、「知ること」とはいったい何かと問われると、われわれは案外それを「知らない」のではないか。人が物事を知ることの意味や構造、その限界などについて、主に哲学の立場から考察し、伝統的な思想や宗教のなかで紡ぎだされてきた「知」に対する思索や、他の人文諸科学や認知科学の提示する「知」へのアプローチなどを紹介しつつ、「知ること」について問い直してみたい。</p>		
備考	(人文開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	<p>学問とは、何かを知る営みである。しかし、「知ること」とはいったい何かと問われると、われわれは案外それを「知らない」のではないか。人が物事を知ることの意味や構造、その限界などについて、主に哲学の立場から考察し、伝統的な思想や宗教のなかで紡ぎだされてきた「知」に対する思索や、他の人文諸科学や認知科学の提示する「知」へのアプローチなどを紹介しつつ、「知ること」について問い直してみたい。</p>		
到達目標	<p>(1) 各講義で取り上げられた概念について、自分の言葉で説明できる。 (2) (1) を踏まえて、自分の見解を展開できる。</p>		
キーワード	啓蒙思想, 自由学芸, 日本思想, 儒教, オースティン, ウィトゲンシュタイン		
各回授業計画	<p>第 1 回【10 月 3 日 千葉建 人文社会系】 [啓蒙主義における知] 先入観をもつことは、真実について知ることを妨げるのだろうか。人々の無知蒙昧を啓くことを目指した啓蒙思想における知と先入観との関係を考察することを通じて、知ることの意味について考えたい。</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 17 日 千葉建 人文社会系】 [啓蒙主義における知] 先入観をもつことは、真実について知ることを妨げるのだろうか。人々の無知蒙昧を啓くことを目指した啓蒙思想における知と先入観との関係を考察することを通じて、知ることの意味について考えたい。</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 24 日 桑原直巳 人文社会系】 [政治的主体に求められる知 自由学芸の意味 ] 「教養教育」の源泉である「自由学芸 artes liberales」が、古代社会においては政治的主体としての資質の涵養を意味していたこと、また中世においてはキリスト教と統合されつつ知的世界の土台を形成していたことを明らかにする。</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 31 日 桑原直巳 人文社会系】 [自由学芸とキリスト教] 「教養教育」の源泉である「自由学芸 artes liberales」が、古代社会においては政治的主体としての資質の涵養を意味していたこと、また中世においてはキリスト教と統合されつつ知的世界の土台を形成していたことを明らかにする。</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 8 日・振替授業日 伊藤益 人文社会系】 [日本人の知] 古代文献における「見る」「知る」二語の密接な結びつきを手がかりにして、「見る」ことの本来の意義を究明しつつ「知る」ことの本義に迫り、以て日本的知の原型を浮き彫りにする。</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 14 日 伊藤益 人文社会系】 [日本人の知] 古代文献における「見る」「知る」二語の密接な結びつきを手がかりにして、「見る」ことの本来の意義を究明しつつ「知る」ことの本義に迫り、以て日本的知の原型を浮き彫りにする。</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 21 日 和久希 非常勤講師】 [中国古典思想の知] 東アジア世界において広域かつ長期にわたり甚大な影響を有していた儒教思想について、本講義ではとくに中華帝国の正統性(レジティマシー)を支えてきた国家理論という部分に着目し、その形成期である漢代儒教を取り上げる。あわせて国家理論の真理性を客観的・合理的に保証するための知的営為について論及し、当時の知識人が志向していた儒教的知の体系について考えたい。</p>		

	<p>第8回【12月5日 和久希 非常勤講師】 [中国古典思想の知] 東アジア世界において広域かつ長期にわたり甚大な影響を有していた儒教思想について、本講義ではとくに中華帝国の正統性(レジティマシー)を支えてきた国家理論という部分に着目し、その形成期である漢代儒教を取り上げる。あわせて国家理論の真理性を客観的・合理的に保証するための知的営為について論及し、当時の知識人が志向していた儒教的知の体系について考えたい。</p> <hr/> <p>第9回【12月12日 鬼界彰夫 人文社会系】 [「私は知っている」とはどういうことか?] 人間固有の知とは何かという問いを通じて、人間とはいかなる存在か、人間として生きるとはいかなることかについて考える。その際、「私は知っている」および「私は知らない」という表現の特定の用法について考えることを導きの糸とする。J.L. オースティン、後期ウイトゲンシュタインにも言及する。</p> <hr/> <p>第10回【12月19日 鬼界彰夫 人文社会系】 [「私は知っている」とはどういうことか?] 人間固有の知とは何かという問いを通じて、人間とはいかなる存在か、人間として生きるとはいかなることかについて考える。その際、「私は知っている」および「私は知らない」という表現の特定の用法について考えることを導きの糸とする。J.L. オースティン、後期ウイトゲンシュタインにも言及する。</p> <hr/> <p>第11回【12月26日 檜垣良成 人文社会系】 [期末試験]</p>
履修条件	「「知ること」とは何か I」、「「知ること」とは何か III」も履修することで、総合的な理解が得られる。
成績評価方法	定期試験(50%)・・・課題に対しての展開能力と独創性を求める。授業内容や資料を単に引き写しただけの答案は評価しない。 授業への参加姿勢(50%)・・・各回の授業に参加した後、manabaにて期限内に課題を提出することで本項目を評価する。
授業外における学習方法	manabaにて復習を行い、課題を提出すること。また、講義で言及された参考文献を積極的に読むこと。
教材・参考文献	教科書は指定しない。参考文献は各講義担当者が個別に指示する。
オフィスアワー・連絡先	随時(メールによる事前予約) 月:応相談 火:5限 水:応相談 金:6限終了後 人文社会学系棟 A819 doi at logos.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッセージ	問題意識をもって授業に真摯に参加してほしい。授業において真摯な参加態度が見られない場合、その後の履修を認めない。

授業科目名	西アジア文明学への招待		
科目番号	1B01101	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 2
担当教員	常木 晃		
授業概要	現在の西アジア地域は、世界政治や経済の不安定要素とされ、不可解、危険などというキーワードで語られることが多いのですが、イスラーム以前からの長大な歴史という視点から見つめ直すと全く異なる世界が広がります。この古い西アジア世界が達成した様々な伝統をここでは西アジア文明と呼んでいます。ここではぐくまれた様々な革新的技術や新たな精神生活は、数千年後の私たちの生活する現代社会にまで大きな影響を与えています。この授業では、現代の人間社会の基層を創りだした西アジア文明について、歴史学や考古学、言語学、環境科学といった様々な分野の専門家が読み解いていきます。		
備考	(人文開設) 【受入上限数 180 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	現在の西アジア地域は、世界政治や経済の不安定要素とされ、不可解、危険などというキーワードで語られることが多いのですが、イスラーム以前からの長大な歴史という視点から見つめ直すとまったく異なる世界が広がります。この授業では、物質文化から精神生活まで幅広く現代社会の基層を創りだした西アジア文明について、歴史学や考古学、言語学、環境科学といったさまざまな分野の専門家が読み解いていきます。		
到達目標	1 西アジアという地域と自然環境、人々のあり方について知る。 2 古代西アジアが達成したさまざまな物質的・精神的事項について理解を深める。 3 文明の衝突論を乗り越えて、人類共通の基層文化としての西アジア世界を理解する。		
キーワード	西アジア文明、自然環境、基層文化、人類の拡散、農耕と都市文明、楔形文字、書記、宗教、信仰		
各回授業計画	<p>西アジア文明とは それぞれの時間、各担当教員によりオムニバス形式で授業が実施されます。</p> <p>第 1 回【10 月 3 日 常木晃 人文社会系】 [西アジア文明とは] 古代西アジア世界が創造し、現代社会にまで大きな影響を与えている重要な物質文化や精神文化について概説します。</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 17 日 安間了 生命環境系】 [西アジアの自然環境] 西アジアの古自然環境を復元する様々な方法とその実際について、人々との関わりに触れながら解説します。</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 24 日 久田健一郎 生命環境系】 [西アジアの地質] 西アジアの地質の多様性と人々の利用について、その地質環境を作り上げたプレートテクトニクスに触れながら解説します。</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 31 日 三宅裕 人文社会系】 [西アジアの先史時代] 西アジアにおける人類の登場から定住生活の開始までのプロセスを、人類学・考古学の資料を用いて概説します。</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 8 日 (振替授業日) 池田潤 人文社会系】 [古代西アジアの言語と文字] 多言語・多文字世界であった古代西アジアの言語と文字の諸相について概観します。</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 14 日 柴田大輔 人文社会系】 [楔形文字文書の世界] 世界最古の文字である楔形文字で記された文書の内容を紹介し、当時の歴史・社会・文化について概説します。</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 21 日 山田重郎 人文社会系】 [古代西アジアの歴史と人物] 新バビロニア王国 (紀元前 7-6 世紀) の王ネブカドネザル 2 世と王都バビロンについて講義します。</p>		

	<p>第8回【12月5日 谷口陽子 人文社会系】 [西アジアの文化遺産を守る] 西アジアの重要な文化遺産を保存修復するために、実際に行われているプロジェクトについて解説します。</p> <hr/> <p>第9回【12月12日 丸岡照幸 生命環境系】 [化学の眼で読み解く古環境] 同位体比や化学組成といった「化学的指標」を用いることで、過去の環境を読み取ることが可能です。具体的な適用例を元に古環境を復元するための手法を解説します。</p> <hr/> <p>第10回【12月19日 非常勤講師】 [西アジア文明と現代社会] 西アジア地域の古代文明が、現代の社会や経済とどのように深い関係を持っているのかについて概観します。</p> <hr/> <p>第11回【12月26日 常木晃 人文社会系】 [期末試験] 筆記試験を実施します。</p>
履修条件	特にありません。
成績評価方法	出席(出席表にて確認)50% および期末試験の成績 50% に基づき、評価します。
授業外における学習方法	西アジアからの情報にできるだけ触れてほしい。
教材・参考文献	以下の本を教科書とし、教科書に基づいて授業を進めます。 1. 筑波大学西アジア文明研究センター編『西アジア文明学への招待』(悠書館)2014年9月出版
オフィスアワー・連絡先	木:13:45~16:30 人文社会学系棟 B711 4048 tsuneki.akira.gf at u.tsukuba.ac.jp <a href="http://rcwasia.hass.tsukuba.ac.jp/kaken/">http://rcwasia.hass.tsukuba.ac.jp/kaken/</a>
履修者へのメッセージ	西アジア文明を一つの材料として、他者をどう理解していくか、ひいては自己をどう知るかを学んでほしい。

授業科目名	民族の世界 II 食文化と民族 2		
科目番号	1B01121	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 2
担当教員	谷口 陽子		
授業概要	民族の世界 II では、とくに中央アジア・西アジア・ヨーロッパの食文化について考察する。私たち人間にとって生の根源である食とそれにまつわる食文化は、民族によって実に多様で、そこには豊かな世界が形成されている。世界各地の食文化を紹介しながら、「食」をキーワードに民族性やその背後にある文化にまで迫り、他者や異文化、そして自己を理解するための機会としたい。		
備考	(人文開設) 西暦偶数年度開講。 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	「食」を通して民族性や文化、他者や異文化、そして自己を理解する。		
到達目標	1. 東南アジア～西アジア、ヨーロッパの食文化を歴史的背景との関連で理解する 2. 東南アジア～西アジア、ヨーロッパの食文化の多様性について理解を深める 3. 東南アジア～西アジア、ヨーロッパの食文化の検討から自己に対する理解を深める		
キーワード	食、文化、民族、多様性、価値観		
各回授業計画	<p>第 1 回【10 月 3 日 谷口陽子 人文社会系】 [イントロダクション:ユーラシアにおける食と小麦] 食文化と民族のイントロダクション。麵、パン、ビール作りに代表される小麦製品の生産について、現代のパン作りに関わる民族誌を中心に論じる。</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 17 日 内山田康 人文社会系】 [南アジアの食と文化 (1)] カーストと食べ物、肉食と菜食、食べ物の交換、共食を通してパーソンについて考える。</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 24 日 山崎寿美子 (非常勤講師)】 [発酵食品からみる東南アジア (1)] 東南アジアの風土と生業をふまえつつ、発酵食品と、その食べ方について紹介する。</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 31 日 山崎寿美子 (非常勤講師)】 [発酵食品からみる東南アジア (2)] メコン川流域でつくられる魚類の発酵食品に焦点を当て、東南アジア大陸部における民族と文化について考える。</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 8 日 中野泰 人文社会系】 [漁労と食と文化] 魚介類の食利用を取り上げ、漁撈等の地域文化や歴史との関わりから考察をする。</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 14 日 (振替授業日) 内山田康 人文社会系】 [南アジアの食と文化 (2)] カーストと食べ物、肉食と菜食、食べ物の交換、共食を通してパーソンについて考える。</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 21 日 常木晃 人文社会系】 [西アジアの食と文化 (1)] 神と人との約束の樹としてのオリーブについて、考古学・文献資料などから解説する。</p> <hr/> <p>第 8 回【12 月 5 日 常木晃 人文社会系】 [西アジアの食と文化 (1)] 神に対する祈りを唱え続けるために眠らない薬として開発されたコーヒーについて論じる。</p> <hr/> <p>第 9 回【12 月 12 日 津田博司 人文社会系】 [ヨーロッパの食と文化 (1)] イギリスにおける紅茶文化の成立について、近代世界システムとの関わりから論じる。</p> <hr/> <p>第 10 回【12 月 19 日 村上宏昭 人文社会系】 [ヨーロッパの食と文化 (2)] 第一次世界大戦における飢餓の経験と食糧自給思想の台頭について解説する。</p>		

	第 11 回【12 月 26 日 谷口陽子 人文社会系】 期末試験
履修条件	特になし
成績評価方法	A:定期試験 (75%)... 講義内容の理解度 B:出席 (25%)...2/3 以上の出席
授業外における 学習方法	参考文献などをよく読み、理解を深める
教材・参考文献	授業内で適宜配付、提示する 1. 常木晃 (編) 『食文化 歴史と民族の饗宴』悠書館
オフィスア ワー・連絡先	火:11:30-14:00, 木:15:00-16:00 人文社会学系棟 B104 taniguchi.yoko.fu at u.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッ セージ	食というきわめて身近な事象の中に、文化や民族を理解するための重要な手がかりが潜んでいる ことに気づき、食文化に対する認識を新たにして欲しい



授業科目名	異文化との対話 欧米 Humanities の愉しみ		
科目番号	1B02281	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 2
担当教員	相澤 啓一, 小松 祐子, 加藤 百合, 増尾 弘美		
授業概要	異文化とは、「異文化」と「自文化」の間に何らかの境界線が意識されるとき、初めてそこに成立するイメージである。私たちは日頃、いったいどんな境界線を引いて、どんな「異文化」を作り上げているだろうか？この授業では、私たちが「異文化」についてどんなイメージを持ち、どんな接し方をしてきているのか、翻訳やジャポニズムの歴史、日本やヨーロッパ、カナダなどさまざまな文化圏における事例、さらには私たちの日常生活の中の異文化などをとりあげて、異文化との対話のあり方を検討する。		
備考	(比文開設) 西暦偶数年度開講。 【受講制限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	A		
水準・区分	100 番台、学際的科目		
教育目的	異文化とは、「異文化」と「自文化」の間に何らかの境界線が意識されるとき、初めてそこに成立するイメージである。私たちは日頃、いったいどんな境界線を引いて、どんな「異文化」を作り上げているだろうか？この授業では、私たちが「異文化」についてどんなイメージを持ち、どんな接し方をしてきているのか、翻訳やジャポニズムの歴史、日本やヨーロッパ、カナダなどさまざまな文化圏における事例、さらには私たちの日常生活の中の異文化などをとりあげて、異文化との対話のあり方を検討する。		
到達目標	身近でアクチュアルな問題として文化の問題を考えるいい機会であり、そのための考える素材として日本だけでなく、ドイツ、ロシア、フランス、カナダなどの歴史を見ることとする		
キーワード	異文化, 自文化		
各回授業計画	<p>第 1 回【10 月 3 日 相澤 啓一 (文芸・言語)】 [異文化とは何か] 第 1 回の授業では、異文化とは何かについて、さまざまな角度から考え、異文化や自文化のイメージについて、さらにはそれらを無意識に区別している私たちの中の先入観やイデオロギーの生成過程について、一緒に考える。</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 17 日 相澤 啓一 (文芸・言語)】 [異文化と出会った明治日本] 日本の伝統と呼ばれるものはどこまで私たちの「自文化」なのか？また、日本人は異文化と出会ったときにどのように対応したのか？明治日本における翻訳の歴史と現代日本語の成立史を例に考える。</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 24 日 相澤 啓一 (文芸・言語)】 [ナチスの経験と難民問題:ドイツの経験] ドイツにおける異文化との出会いの歴史をたどる。異文化を徹底的に排除したナチス・ドイツでいったい何が起きたのか？その経験から学んだドイツ社会は難民問題にどう対応しようとしているのか。</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 31 日 増尾 弘美 (文芸・言語)】 [ジャポニズム] 19 世紀後半から 20 世紀にかけてのフランスにおいて、ジャポニズムが印象派絵画やアール・ヌーヴォーを生み出すきっかけとなったこと、さらに唯美主義やデカダンスにも影響を与えたことを詳しく見ていきたい。</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 8 日 増尾 弘美 (文芸・言語)】 [バレエ・リュス] 17 世紀フランスにおいてルイ 14 世の指揮のもと基礎が築かれたバレエが、19 世紀にロシアに伝わり、20 世紀になると今度はバレエ・リュス (ロシア・バレエ) がパリで大成功を収めた。その成功の理由を探る。</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 14 日 加藤 百合 (文芸・言語)】 [ドストエフスキーがはやると世界が危ない? (その 1)] ロシア文学の文脈:1940-50 年代のロシア社会とシベリア流刑を経たドストエフスキーの心理が書き込まれた恐ろしい小説「罪と罰」の生成過程を見る。(キーワード:フェリエトン、生理的スケッチからの流れ)</p>		

	<p>第7回【11月14日 加藤 百合 (文芸・言語)】          [ドストエフスキーがはやると世界が危ない? (その2)]          日本文学の文脈:明治 30 40年代の日本社会で「罪と罰」はどのように受容されたのか。(キーワード:心理小説、探偵小説、都市小説、悲惨小説、自然主義小説への流れ)</p> <hr/> <p>第8回【12月5日 小松 祐子 (現代語・現代文化)】          [北米のフランス語圏:言語文化のサバイバル]          北米の圧倒的な英語環境のなかで、フランス語系の人々はいかにして自らの言語文化を保っているだろうか。フランス語系が州内多数派を占めるケベック州とカナダ他州の少数フランス語共同体についてそれぞれの歴史と現状を比較・概観し、言語文化的アイデンティティについて考える。</p> <hr/> <p>第9回【12月12日 小松 祐子 (現代語・現代文化)】          [ケベックの間文化主義:多文化共生社会をめざして]          移民受入れ大国カナダ連邦のなかで「異なる社会」を自認するケベック州では、フランス語を社会の基盤としつつ、住民の文化的統合をはかるための独自のアプローチ「間文化主義 (インターカルチュラリズム)」を公式に採用している。連邦の多文化主義 (マルチカルチュラリズム) とは異なるこの政策の背景や実情を概観し、移民社会の文化的統合の問題を考える。</p> <hr/> <p>第10回【12月19日 小松 祐子 (現代語・現代文化)】          [フランコフォニーと文化多様性の擁護]          グローバル化に伴う文化画一化の問題が指摘されるなか、世界 80 か国が加盟するフランコフォニー国際組織が提唱する「多様性擁護」とは何か。フランス語圏の共同体として誕生したこの組織が、フランス語にかぎらない言語文化多様性の擁護へとその使命を拡大してきた背景と課題を理解し、グローバル化と文化の問題を考える。</p>
履修条件	7割以上の出席、レポートの提出
成績評価方法	学期末レポートによる
授業外における学習方法	参考文献に目を通してください
教材・参考文献	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 柳父章 『翻訳語成立事情』(岩波新書)</li> <li>2. 石田 勇治 『ヒトラーとナチ・ドイツ』(講談社現代新書)</li> <li>3. 稲賀繁美 『絵画の東方 オリエンタリズムからジャポニスムへ』、名古屋大学出版会、1999年</li> <li>4. 芳賀直子 『パレエ・リュス その魅力のすべて』、国書刊行会、2009年</li> <li>5. どの版でも何語でもかまわないので、「罪と罰」そのものを読んでおいてください。</li> <li>6. どの版でも何語でもかまわないので、「罪と罰」そのものを読んでおいてください。</li> </ol>
オフィスアワー・連絡先	授業時にお知らせします
履修者へのメッセージ	テロやヘイトスピーチや難民問題の経験を通して、大統領選挙を控えるアメリカでも、ほとんどの筑波大生が選挙権を持つことになった日本でも、多くの社会が、「異文化」への寛容度を低くする方向に変容しつつあります。身近な問題として異文化というテーマを考えていきましょう。

授業科目名	経済学への誘い		
科目番号	1B04051	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 2
担当教員	篠塚 友一		
授業概要	社会科学の中で唯一ノーベル賞の対象となるまでに発展してきた経済学について、できるだけやさしく解説する。理論、歴史、思想などの多角的な入り口から高度に専門的な経済学へと入門するための道しるべやヒントを提供する。		
備考	(社会開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	社会科学の中で唯一ノーベル賞の対象となるまでに発達してきた学問であり、また現代社会のさまざまな現象を分析するうえで有益かつ基礎となる経済学の魅力について解説することを目的とする。本科目では抽象度の高い経済理論のみならず、地域経済や歴史を専門とする担当者によって、その特徴を多角的に論じることで経済学へ入門するための道しるべやヒントを提供する。		
到達目標	1 経済理論の初歩的基礎知識の習得 2 経済史・経済思想の初歩的基礎知識の習得 3 現代経済分析の初歩的基礎知識の習得		
キーワード	経済史, 開発経済学, 公共選択		
各回授業計画	<p>第 1 回【10 月 3 日 高橋秀直 人文社会系】 過去から現在までの経済のグローバル化と長期の経済発展過程の分析 (1)</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 17 日 高橋秀直 人文社会系】 過去から現在までの経済のグローバル化と長期の経済発展過程の分析 (2)</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 24 日 高橋秀直 人文社会系】 過去から現在までの経済のグローバル化と長期の経済発展過程の分析 (3)</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 31 日 高橋秀直 人文社会系】 過去から現在までの経済のグローバル化と長期の経済発展過程の分析 (4)</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 8 日 (振替授業日) 人文社会系】 開発経済学入門 (1)</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 14 日 箕輪真理 人文社会系】 開発経済学入門 (2)</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 21 日 箕輪真理 人文社会系】 開発経済学入門 (3)</p> <hr/> <p>第 8 回【12 月 5 日 仲 重人 人文社会系】 公共選択入門 (1)</p> <hr/> <p>第 9 回【12 月 12 日 仲 重人 人文社会系】 公共選択入門 (2)</p> <hr/> <p>第 10 回【12 月 19 日 仲 重人 人文社会系】 公共選択入門 (3)</p> <hr/> <p>第 11 回【12 月 26 日 篠塚友一 人文社会系】 期末試験</p>		
履修条件	授業の前提として高校程度の基礎的数学の能力・理解力を身につけていることを条件とする。		
成績評価方法	期末試験 2/3 以上の出席を単位取得の必要条件とします。		
授業外における学習方法	授業時に指示された文献や経済用語等についてさらに詳しく復習すること。		
教材・参考文献	授業時に適宜指示する		
オフィスアワー・連絡先	授業終了後または予約		
履修者へのメッセージ	授業中に指名されたり、意見を求められた場合には、積極的に発言することが求められます。		

授業科目名	国際学を学ぶ II		
科目番号	1B05051	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 2
担当教員	黒川 義教		
授業概要	世界規模で国際社会が変化し、環境問題や人口問題が進行する中、国際社会で生じる諸現象について理解することが求められている。本講義では、グローバルな対応が求められる国際社会の諸課題に対して、人文・社会科学や情報・環境学における様々な視点や方法からアプローチしつつ、今後の国際社会の在り方について理解と考察を深めることを目的とする。この「国際学を学ぶ II」では、特に、情報・環境学の視角から論じる。総合的な理解を得るために、国際政治・国際法、経済学、文化・社会開発の視点から論じる「国際学を学ぶ I」とあわせて履修することが望ましい。		
備考	*国際総合学類生の受講は認めない。 (国際開設)【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	世界規模で国際社会が変化し、環境問題や人口問題が進行する中、国際社会で生じる諸現象について理解することが求められている。本講義では、グローバルな対応が求められる国際社会の諸課題に対して、人文・社会科学や情報・環境学における様々な視点や方法からアプローチしつつ、今後の国際社会の在り方について理解と考察を深めることを目的とする。この「国際学を学ぶ II」では、特に、情報・環境学の視角から論じる。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際社会における諸問題に対する意識を深めることができる。</li> <li>2. 国際社会の問題解決のために、情報・環境学の分野において、どのような取り組みが実施されているかを理解することができる。</li> <li>3. 今後のより良い国際社会の構築に向けて、何が必要とされているかを自分で考える能力を養うことができる。</li> </ol>		
キーワード	国際学		
各回授業計画	<p>教室は 3A402 です。</p> <p>第 1 回【10 月 3 日 石田東生 システム情報系】 [交通システムの国際協力 (1)] 途上国の社会・都市と交通の状況と課題について概説する。</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 17 日 石田東生 システム情報系】 [交通システムの国際協力 (2)] わが国の都市交通の発展とその特長を活かした国際協力のあり方について考える。</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 24 日 高橋伸 システム情報系】 [国際開発とヒューマンインタフェースデザイン (1)] 国際開発の枠組みにおけるヒューマンインタフェースデザインについて概説する。</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 31 日 高橋伸 システム情報系】 [国際開発とヒューマンインタフェースデザイン (2)] 引き続き国際開発の枠組みにおけるヒューマンインタフェースデザインについて概説する。また、関連する適正技術やパーソナルファブ리케이션などの動向を紹介する。</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 8 日 白川直樹 システム情報系】 [自然条件と生態系] 生態系の保護を図るには、地域ごとの自然条件をよく理解することが必要である。ここでは水条件の差異がもたらす風土の多様性について考える。</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 14 日 松原康介 システム情報系】 [国際協力のコミュニティ・デザイン] 先進国の専門家が途上国のカウンター・パートに対して一方的に知識や技術を伝授するのではなく、相互に学び合いながら最適な問題解決をはかる新しい国際協力の事例を、コミュニティ・デザインを引き合いに紹介する。</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 21 日 蔡東生 システム情報系】 [国際社会と情報セキュリティ 1] 1 回目は導入編として、政治・経済など多くの分野において世界中に大きな影響をもたらしたインターネットなど情報通信技術のしくみについての概説を行う。</p>		

	<p>第8回【12月5日 蔡東生 システム情報系】 [国際社会と情報セキュリティ 2] 現代の国際社会で活躍するためのツールとして情報通信技術を用いる上で気をつけなければならないことを、最近多発している幾つかの事例を基にして考える。</p> <hr/> <p>第9回【12月12日 白川直樹 システム情報系】 [環境目標の設定] 望ましい環境とは、自然度が高いことなのか、それとも人間にとって都合が良いということなのか？ 河川環境を例にとって環境目標の決め方について考える。</p> <hr/> <p>第10回【12月19日 松原康介 システム情報系】 [国際協力のコミュニティ・デザイン] 国際協力において重要なことは、途上国や地域の側が普段意識できない価値観をもって資源を発見しうる、「他者」として存在し活動することである。日本とシリアの国際協力の事例を紹介する。</p> <hr/> <p>第11回【12月26日 黒川義教 人文社会系】 期末試験</p>
履修条件	出席を重視する。「国際学を学ぶ1」とあわせて履修することが望ましい。 *国際総合学類生の受講は認めない。
成績評価方法	評価方法(評価割合)及び評価基準 A:出席状況(20%)・・・毎回出席をとる。 B:学期末試験(80%)・・・持込不可。 到達目標1(国際社会の諸問題に対する意識を深めることができる。) Aを「重視」、Bを「重視」 到達目標2(国際社会の諸問題の解決のための、取組の実施について理解することができる。) Aを「重視」、Bを「重視」 到達目標3(今後のより良い国際社会の構築に向けて、必要とされていることを考える能力を養うことができる。) Aを「重視」、Bを「重視」
授業外における学習方法	必要に応じて指示する。
教材・参考文献	各講義担当者が授業中に個別に指示する。
オフィスアワー・連絡先	mailにて連絡 黒川義教 kurokawa.yoshi.fw@u.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッセージ	さまざまな学問的アプローチに対する知的好奇心をもって受講してください。

授業科目名	経済学入門Ⅰ		
科目番号	1B17011	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 2
担当教員	栗野 盛光, 秋山 英三		
授業概要	私達は日々の生活の中で必要な物やサービスを消費、あるいは提供している。私達の社会で誰が何をどれだけ物やサービスを消費・提供するかという問題は、市場によって行われる。本講義では、市場の働きを理解し、多くの事例に触れ理解を深める。		
備考	(社工開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	私達は日々の生活の中で必要な物やサービスを消費、あるいは提供している。私達の社会で誰が何をどれだけ物やサービスを消費・提供するかという問題は、市場によって行われる。本講義では、市場の働きを理解し、多くの事例に触れ理解を深める。		
到達目標	1, 市場とは何かを理解する。 2, 市場における需要と供給の考え方と分析する力を習得する。 3, 市場がどのような結果をもたらすかという経済現象を事例を踏まえて学習する。		
キーワード	市場, 需要, 供給, 効率性		
各回授業計画	<p>第 1 回【10 月 3 日 澤亮治 システム情報系】 [イントロダクション] 経済学とはどんな学問か、経済学の基本原理 (マンキュー 1 章・2 章)</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 17 日 澤亮治 システム情報系】 [相互依存と交易からの利益] 相互依存と交易からの利益 (マンキュー 3 章)</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 24 日 澤亮治 システム情報系】 [市場における需要と供給の作用] 市場における需要と供給の作用 (マンキュー 4 章)</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 31 日 澤亮治 システム情報系】 [弾力性とその応用] 弾力性とその応用 (マンキュー 5 章)</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 8 日 澤亮治 システム情報系】 [需要、供給、および政府の政策] 需要、供給、および政府の政策 (マンキュー 6 章)</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 14 日 栗野盛光 システム情報系】 [消費者、生産者、市場の効率性] 消費者、生産者、市場の効率性 (マンキュー 7 章)</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 21 日 栗野盛光 システム情報系】 [外部性] 外部性 (マンキュー 10 章)</p> <hr/> <p>第 8 回【12 月 5 日 栗野盛光 システム情報系】 [公共財と共有資源] 公共財と共有資源 (マンキュー 11 章)</p> <hr/> <p>第 9 回【12 月 12 日 栗野盛光 システム情報系】 [生産の費用] 生産の費用 (マンキュー 13 章)</p> <hr/> <p>第 10 回【12 月 19 日 栗野盛光 システム情報系】 [競争市場における企業] 競争市場における企業 (マンキュー 14 章)</p> <hr/> <p>第 11 回【12 月 26 日 栗野盛光 システム情報系】 [期末試験]</p>		
履修条件	日本語		
成績評価方法	期末試験のみで判定。成績不良者の救済は一切行わない。		

授業外における学習方法	講義は教科書に沿うので、講義終了後は教科書の該当の章を読み、考える。
教材・参考文献	1. N・グレゴリー・マンキュー『マンキュー経済学 I ミクロ編 (第 3 版)』東洋経済新報社、2013 年
オフィスアワー・連絡先	メールによりアポイントメントを取ればいつでも対応可。
履修者へのメッセージ	講義中に指定された HP より講義スライドがダウンロード可である。

授業科目名	経営の科学 II		
科目番号	1B17061	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 2
担当教員	渡邊 真一郎		
授業概要	マーケティング (企業が製品やサービスを「創って、造って、売る」ために実施している施策を理解するための知識を教授する。学生、社会人として、企業行動を理解できるようになることを目指す。) 企業金融 (昨今新聞紙上を賑わせている様々な金融の問題について、それを企業の経済活動の観点から眺めることで企業金融のみならずファイナンス理論の基礎を身に付け、こうした問題についたきちんとした理解を行う。)		
備考	(社工開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	【前半】企業が製品やサービスを「創って、造って、売る」ために実施している施策を理解するための知識を教授する。学生、社会人として、企業行動を理解できるようになることを目指す。 【後半】POS(Point of Sales) データや携帯電話によるモバイル情報サービスデータといったビッグデータに基づいたマーケティングに関してコンテンポラリーな話題を取り扱う。		
到達目標	1 様々な企業行動を理解し、合理的に説明できるようになること。 2 情報サービスデータの分析を通して得られる知見が、企業経営にどのように役立つかについて理解する。		
キーワード	戦略的マーケティング, セグメンテーション, 製品ライフサイクル, POS データ, モバイル情報サービス		
各回授業計画	<p>経営の科学 II は、前半のマーケティング (担当:生稲史彦) 及び後半のマーケティング・サイエンス (担当:近藤文代) によって構成される。各分野について基礎的な知識を提供する予定です。</p> <p>第 1 回【10 月 3 日 生稲史彦 システム情報系】 [戦略的マーケティングとは何か]</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 17 日 生稲史彦 システム情報系】 [マーケティングの 4P]</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 24 日 生稲史彦 システム情報系】 [セグメンテーション]</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 31 日 生稲史彦 システム情報系】 [製品ライフサイクルとマーケティング戦略]</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 8 日 (振替授業日) 生稲史彦 システム情報系】 [中間試験]</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 14 日 近藤文代 システム情報系】 [マーケティングと POS データ]</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 21 日 近藤文代 システム情報系】 [日本およびアメリカにおける POS システム]</p> <hr/> <p>第 8 回【12 月 5 日 近藤文代 システム情報系】 [モバイル情報技術の進歩とそのシステム]</p> <hr/> <p>第 9 回【12 月 12 日 近藤文代 システム情報系】 [モバイル情報サービスデータを用いたマーケティング分析例]</p> <hr/> <p>第 10 回【12 月 19 日 近藤文代 システム情報系】 [まとめとモバイルマーケティングの展望] 最終レポートの提出は【12 月 25 日】</p>		
履修条件	経営学、マーケティングに関する興味をもっていること。		
成績評価方法	中間テスト (50%) および最終レポート (50%) の得点にもとづき評価を行う。		
授業外における学習方法	授業で学習したことについての復習を怠らないこと。		
教材・参考文献	T.B.A. (第 1 回目の授業でアナウンスする)T.B.A. (第 6 回目の授業でアナウンスする)		
オフィスアワー・連絡先	T.B.A. (第 1 回目の授業でアナウンスする)T.B.A. (第 6 回目の授業でアナウンスする)		



履修者へのメッセージ

経営学の基礎的な理解を深めてください。

授業科目名	知的財産のしくみ (特許編)		
科目番号	1B20041	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 2
担当教員	岩澤 まり子		
授業概要	人間の創造力は、時代を超えて社会に生き続け、生活は便利・快適になっている。例えば有名なレオナルド・ダ・ヴィンチは、飛行機や戦車などを発明した。ノーベル賞の受賞により注目された青色発光ダイオードも、発明の一つである。この発明を一定期間独占する仕組みが特許である。本講義では、特許とは何か、特許に必要な手続き、特許技術の産業界への移転などについて、特許を申請する立場にたって学ぶ。		
備考	(知識開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	人間の創造力は、時代を超えて社会に生き続け、生活は便利・快適になっている。例えばモナリザで有名なレオナルド・ダ・ヴィンチは、飛行機や戦車などを発明した。この発明を一定期間独占する仕組みが特許である。本講義では、特許について、産業界への技術移転などを含め、特許を申請する立場にたって学ぶ。すなわち、新たな知的財産としての特許文献を産出するという知的創造サイクルの中で活躍するための「特許のいろは」を獲得する講義ととらえることができる。		
到達目標	1 特許についての知識を獲得して、特許文献と学術文献の相違を理解する。 2 研究成果の発表および技術移転の場として、特許文献を活用するための基本を理解する。		
キーワード	「い」:一日でも早く、論文よりも特許出願が先であるべし、「ろ」:論文には栄光が、特許権を獲得すれば、独占的排他権もついてくる、「は」:はじめての発明も、産業界への技術移転や大学発ベンチャー起業のための大きな資産、「に」:日本特許は外国に権利及ばず、特許には国境がある、「特許」:特許と論文の活用は、チャンスをのがさないためのキーワード		
各回授業計画	<p>第 1 回【10 月 3 日 岩澤まり子 筑波大学 図書館情報メディア系】 [特許取得の流れ] 日本の特許制度について、権利取得のための手続、特許庁における審査手続、特許要件等について理解する。</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 17 日 阪上晃庸 サントリーホールディング (株)】 [特許が保証する独占権] 特許とは何か、その有用性、効力を理解するために、企業活動の中での具体的な事案に基づいて理解する。</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 24 日 阪上晃庸 サントリーホールディング (株)】 [特許明細書と権利] 特許文献の構成について、学術文献と比較し理解する。とくに権利の視点から、特許明細書の重要性を理解する。</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 31 日 阪上晃庸 サントリーホールディング (株)】 [強い特許と弱い特許] 強い特許であるための特許明細書の書き方、および早い者勝ち制度とその意義について学ぶ。</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 8 日 (振替授業日) 芳鐘冬樹 筑波大学 図書館情報メディア系】 [特許データからの知識発見] 特許情報データベースの概要と、特許出願の書誌データ (分類情報、引用情報など) を活用した技術動向分析の手法について学ぶ。</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 14 日 岩澤まり子 筑波大学 図書館情報メディア系】 [新規性喪失の例外] 学内の研究報告会や学会発表等により発明の新規性を喪失することの意味を理解し、特許権取得のための出願について学ぶ。</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 21 日 新谷由紀子 筑波大学 利益相反・輸出管理マネジメント室】 [科学技術政策と知的財産政策] 日本の科学技術政策における知的財産の取扱いについて、大学における戦略を中心に概説する。</p> <hr/> <p>第 8 回【12 月 5 日 新谷由紀子 筑波大学 利益相反・輸出管理マネジメント室】 [大学における知財管理と利益相反問題 その 1] 利益相反とは何か、また、大学における知財管理上どのような利益相反の問題が起こるのかなどについて考える。</p>		

	<p>第9回【12月12日 新谷由紀子 筑波大学 利益相反・輸出管理マネジメント室】 [大学における知財管理と利益相反問題 その2] 利益相反とは何か、また、大学における知財管理上どのような利益相反の問題が起こるのかなどについて考える。</p> <hr/> <p>第10回【12月19日 岩澤まり子 図書館情報メディア系】 [特許調査と国際条約] 特許をとりまく国際条約の必要性を理解し、その特徴に基づいた特許調査について学ぶ。</p> <hr/> <p>第11回【12月26日 岩澤まり子 図書館情報メディア系】 [期末試験]</p>
履修条件	特になし
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験では、到達目標1及び2をより重視する。評価基準は講義内容の理解度を問う。評価割合は90%とする。</li> <li>・出席・授業態度については、到達目標1及び2を重視する。評価基準は出席の点数化を行う。評価割合は10%とする。</li> </ul>
授業外における学習方法	興味と好奇心をもって生活のなかにある特許を探し、特許性を考える。
教材・参考文献	必要に応じてプリントを配布する。参考文献は講義で紹介する。
オフィスアワー・連絡先	連絡先は、授業の際にお知らせします。
履修者へのメッセージ	研究における特許の重要性を理解し、特許文献を執筆および利用できるようになってほしい。

授業科目名	スポーツと文化		
科目番号	1B24191	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 2
担当教員	山田 幸雄, 嵯峨 寿		
授業概要	アメリカで誕生した野球やバスケ、バレーなどのスポーツのルールや構造などの特徴は何か、また、テニスやゴルフといった他国から伝播したスポーツの運営や実践、観戦などに見られるアメリカ的な特徴などに触れ、日本発祥のスポーツや日本におけるスポーツ文化との相違について考える。		
備考	(体育開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	昨年度までのイギリス編に続き、今年度より第二弾のアメリカ編である。 スポーツ先進国「アメリカのスポーツ」にみられる特徴を次の 3 つの次元から捉える。 1) アメリカで誕生した競技そのものの特徴 (スポーツ構造) 2) スポーツを取り巻く環境、組織、制度、大会運営などにみられる特徴 (スポーツ文化) 3) 人々のライフスタイルにおけるスポーツとの接し方にみられる特徴 (スポーツ消費) 近代スポーツの多くはイギリスを起源とするが、同じ英語圏にあるアメリカもまた新たなスポーツを生み出し、スポーツをエンターテインメントとして、またビジネスとして発展させてきた歴史を有する。アメリカのスポーツを知ることにより、学校教育の一環として導入され発展してきた日本のスポーツのあり方を相対的に捉え直し、改善すべき点や大切に継承すべき良さを見出したい。		
到達目標	1 アメリカで誕生したスポーツの特徴について説明できるようになる。 2 アメリカに特徴的なスポーツ文化・環境などについて説明できるようになる。 3 アメリカの人たちのスポーツとの関わりにみられる多様性について説明できるようになる。		
キーワード	カレッジスポーツ, プロスポーツ, スポーツビジネス, フィットネス, 国民的娯楽, スペクテータースポーツ		
各回授業計画	<p>第 1 回【10 月 3 日 嵯峨 寿 体育系 山田 幸雄 体育系】 [ガイダンス] 本科目の今年度のねらいや学習課題などを確認し、これからの講義に対する興味・関心を高める。</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 17 日 大高 敏弘 体育系】 [バスケットボール] アメリカ 4 大スポーツのひとつに君臨するバスケットがプロや大学スポーツとして人気を博するまでの過程と戦略に触れる。</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 24 日 秋山 央 体育系】 [バレーボール] バレーボール発祥国アメリカと日本のバレーボールにはどのような特徴や違いがあるのかを概説する。</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 31 日 石坂友司 奈良女子大学】 [オリンピックと米国] アメリカにおける五輪の大会や開催都市、テレビ放送、スポンサー企業、選手団派遣、オリンピックにみられる特徴とは何か。</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 8 日 (振替授業日) 白木 仁 体育系】 [アメリカのゴルフ] 英国でスポーツとして始まったゴルフは米国でビジネスになったと揶揄されるが、どんな差異があるのだろうか？</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 14 日 山田 幸雄 体育系】 [テニスにみる米国] 英国ウインブルドンでは芝コートで行われるが、さてアメリカは？ コートの違いはスポーツの捉え方の違いを反映してのことか？</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 21 日 奈良 隆章 体育系】 [ベースボール] アメリカで人気の高いベースボールについて、日本の野球との比較を交えながら理解を深める。</p>		

	<p>第8回【12月5日 松元 剛 体育系】 [大学アメフトとNCAA] 全米大学スポーツの統括機関であるNCAAの創設目的や規則は、アメリカの大学や社会の何を物語っているのだろう。。</p> <hr/> <p>第9回【12月12日 嵯峨寿 体育系】 [Nike] 売上げ影響力とも世界屈指の企業に成長を遂げた米国を代表する運動具メーカーの経営戦略と企業文化とはどのようなものか。</p> <hr/> <p>第10回【12月19日 調整中】 日米両国でプレーした経歴をもつアスリートが自身の体験を通して見聞・実感したスポーツを取り巻く環境の違いについて語る。</p> <hr/> <p>第11回【12月26日 嵯峨 寿 体育系 山田 幸雄 体育系】 [期末試験] 期末試験を行う。</p>
履修条件	講師や他の受講生にとってあなた自身が重要な学習環境の一部となりますから、KIDS(K:携帯いじり、I:飲食、D:惰眠、S:私語)をしないこと=NO・KIDS 厳守を履修条件とします。
成績評価方法	出席:1点×10回 出席1回につき1点 (10%) 出席票裏面レポート:5点×10回 優5、良4、可3、並2、劣1、不可0(50%) 期末試験もしくはレポート:各目標への到達度を測る試験もしくはレポート (40%)
授業外における学習方法	新聞、テレビ等で報道されるスポーツ関連の情報に積極的に触れること。また、アメリカの大統領選をはじめ、今日の動きや歴史、文化に関わる情報に積極的に触れるようにしてほしい。
教材・参考文献	講義において各講師が適宜指定・紹介する。
オフィスアワー・連絡先	嵯峨 寿 <a href="mailto:saga@taiiku.tsukuba.ac.jp">saga at taiiku.tsukuba.ac.jp</a>
履修者へのメッセージ	半年間、スポーツに限らずアメリカの今日の動きや歴史、文化に関わる情報に積極的にアクセスされたい

授業科目名	デザインと社会		
科目番号	1B25031	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 2
担当教員	五十嵐 浩也		
授業概要	デザインに何が出来るのか? 社会との関わりについてデザインの可能性を探る。プロダクト、情報デザインの視点から授業を行う。		
備考	(芸術開設) 芸術専門学群学生の受講は認めない。 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	日用品のデザインから宇宙におけるデザインまで、我々の周りにおけるデザインと、社会の関係を広く理解し、かつ日常の性格の中でのデザインに関心を持つことを目的としている。		
到達目標	1 社会、特に国際社会における情報・プロダクトデザインの働きを理解する。 2 現代の生活におけるデザインの役割、責任について理解を深める。 3 身の回りのデザインについての興味、関心を高める。		
キーワード	情報、プロダクト、デザイン、感性		
各回授業計画	<p>本講義は、芸術専門学群情報・プロダクトデザインの担当教員によるオムニバス講座である。</p> <p>第 1 回【10 月 3 日 五十嵐浩也 芸術系】 [オリエンテーション・プロダクトデザインの地平] 情報・プロダクトデザインについて概説する。</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 17 日 (振替授業日) 五十嵐浩也 芸術系】 [プロダクトデザインと社会] プロダクトデザイン画変えてきた社会について具体例をもとに紹介する。</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 24 日 木村浩 芸術系】 [情報デザインと社会 1] 情報デザインとは何か、情報デザインの歴史とともに、社会に与えてきた変化について概説する。</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 31 日 木村浩 芸術系】 [情報デザインと社会 2] 情報デザインについて、WEB の果たしてきた役割について解説する。</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 8 日 内山俊朗 芸術系】 [情報画変えてゆく社会] 情報デザインにおける情報とプロダクトの関わり方と社会の変化について概説する。</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 14 日 内山俊朗 芸術系】 [情報化社会におけるデザイン] ロボット等、情報を操るプロダクトについて解説する。</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 21 日 李 昇姫 芸術系】 [情報・感性デザインと社会 1] 情報デザイン、プロダクトデザインによって生み出されてきたモノと人間の感性の関わりについて概説する。</p> <hr/> <p>第 8 回【12 月 5 日 李 昇姫 芸術系】 [情報・感性デザインと社会 2] 人間の感性、情報デザインを海外の研究を紹介しながら解説する。</p> <hr/> <p>第 9 回【12 月 12 日 山中敏正 芸術系】 [感性が変えてゆく社会] 感性が社会に与えてゆく変化について概説する。</p> <hr/> <p>第 10 回【12 月 19 日 山中敏正 芸術系】 [感性デザインとは] 感性デザインとは何か、研究や事例に基づいて解説する。</p> <hr/> <p>第 11 回【12 月 26 日 五十嵐浩也 芸術系】 [期末試験]</p>		
履修条件	芸術専門学群生以外		
成績評価方法	1 出席、試験 2 出席は欠格条件、試験 100% 3 出席は 2/3、試験は 60 点以上とする		
授業外における学習方法	授業で取り上げたデザインの対象や問題について、身近な生活環境において確認するなど、日常の活動に対して問題意識を深めること。		

教材・参考文献	1. 必要に応じて、授業中に紹介する。
オフィスアワー・連絡先	特に定めないが、事前連絡をしてから訪問すること。 五十嵐浩也 igara@kansei.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッセージ	なし

授業科目名	ダイバーシティスタディーズ入門		
科目番号	1B26101	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 2
担当教員	関根 久雄, 河野 禎之		
授業概要	グローバル化の加速とともに、人種、民族、宗教、言語、身体的特徴、働き方など、多様な属性を備えた人々が入り混じるようになり、社会や組織のダイバーシティが否応なく高まっています。本科目では、このような現代社会が抱える諸問題への関心やその解決のための理解度を高めていくことを目指します。		
備考	(ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター ダイバーシティ部門, 教養教育機構 企画) 【受入上限数 80 名】		
授業形態	講義		
科目群	B 精神、文化、社会、歴史に関わる総合科目		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	グローバル化の加速とともに、人種、民族、宗教、言語、身体的特徴、働き方など、多様な属性を備えた人々が入り混じるようになり、社会や組織のダイバーシティが否応なく高まっています。本科目では、このような現代社会が抱える諸問題への関心やその解決のための理解度を高めていくことを目指します。		
到達目標	1. ダイバーシティに関する現代の諸問題に関心を持つこと。 2. 学問的な理論・知見と現場レベルの課題を結びつけて理解すること。 3. ソリューションを考える上での不可欠な知識や具体的方法を身に付けること。		
キーワード	共生, 異文化, ダイバーシティマネジメント, 公共政策, 市民社会, 社会福祉		
各回授業計画	<p>第 1 回【10 月 3 日 関根久雄 人文社会系】 [イントロダクション + グローバル化時代のダイバーシティ] 授業の狙い、ダイバーシティスタディーズの意義などについて概説します。グローバル化の進化に伴って複雑化する、国家や社会の多様性について考察を加えます。</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 17 日 明石純一 人文社会系】 [ダイバーシティと公共] 国際的な人の移動の活性化が、どのような公共政策的な課題を生み出しているのかを考えます。</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 24 日 池田潤 人文社会系】 [実践への導入 (1) ダイバーシティと企業] ダイバーシティをめぐる諸問題に対する民間企業の実践的取り組みを学びます。株式会社電通からゲストスピーカーも招きます。</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 31 日 外部講師】 [実践への導入 (2) ダイバーシティと市民社会組織] ダイバーシティをめぐる諸問題に対する市民社会組織 (e.g. NGO) による実践的取り組みを学びます。ダイバーシティ研究所から講師を招きます。</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 8 日 (振替授業日) 柿澤敏文 人間系】 [ダイバーシティと障害] ダイバーシティと障害 (とくに視覚障害) との関係、それへの対応のあり方を学びます。</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 14 日 河野禎之 ダイバーシティ部門】 [ダイバーシティと社会福祉] ダイバーシティの問題について、社会福祉の観点から、その実践的取り組みを多角的に学びます。</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 21 日 ラミチャネ・カマル CRICED】 [ダイバーシティと福祉と経済] ダイバーシティをめぐる諸問題について、福祉の視点、経済の視点、経営の視点から検討します。</p> <hr/> <p>第 8 回【12 月 5 日 外部講師】 [ダイバーシティと性] LGBT など性に関するダイバーシティの課題について理解を深めます。</p> <hr/> <p>第 9 回【12 月 12 日 河野禎之 ダイバーシティ部門 他】 [グループディスカッション] プレゼンテーションの準備作業の一環として、各グループが設定した課題についてグループごとに討議します。</p>		



	<p>第 10 回【12月 19 日 河野禎之 ダイバーシティ部門 他】 [総括 (前半)] 各回講義の内容を結びつけ、体系的な理解を促します。グループごとにプレゼンテーションを行ないます。コメンテーターも置きます。</p> <hr/> <p>第 11 回【12月 26 日 河野禎之 ダイバーシティ部門 他】 [試験日:総括 (後半)] 各回講義の内容を結びつけ、体系的な理解を促します。グループごとにプレゼンテーションを行ないます。コメンテーターも置きます。試験に代えてレポートを課します。</p>
履修条件	「ワーク・ライフ学 - 男女共同参画とダイバーシティ - 」を併せて受講することを推奨します。
成績評価方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. レポート:課題に対するの展開能力と妥当性、独創性 70%</li> <li>2. 授業内課題:各回の課題を理解し、企画力、展開能力をみる 20%</li> <li>3. 出席状況:10% なお、2/3 以上の出席がある者を成績評価対象とします。</li> </ol>
授業外における学習方法	ダイバーシティ部門で企画する各種事業への参加も、授業外の学習として認めます。授業で得た知識をヒントに、最終課題に応えるためのリサーチを主体的に進めることにより、ダイバーシティに関する理解を深めていきます。
教材・参考文献	教科書は特に定めません。必要に応じてプリントを配布し、各回で担当教員が紹介します。
オフィスアワー・連絡先	河野 禎之 木曜日昼休み (要事前連絡)
履修者へのメッセージ	<p>授業では後半にグループワークとプレゼンテーションを内容に含みます。ダイバーシティに関心を向け、深い理解やより広い知識を目指して、各自で積極的に文献等に当たるとともに、講義最終回の総括におけるディスカッションに積極的に、能動的に参加してください。必要な場合には、講師への質問や議論も歓迎します。なお、グループワークの指導と各グループの発表時間を確保するため、受入上限数を 80 名に設定しています。</p> <p>(注) 外部講師との調整により日程の入れ替えや内容の変更の可能性があります。</p>

授業科目名	日本の地域社会見学実習		
科目番号	1B03523	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 ABC 集中
担当教員	加藤 晴美		
授業概要	本科目では、門前町や城下町といった日本の歴史的な町並みや博物館等を対象とした実地見学を行う。事前学習と、東京都内及びその近郊において実施する実地見学を通じて、日本の地域社会における歴史的・文化的な景観やそこに展開した生活文化の特色について学ぶ。		
備考	(日開設) 外国人留学生及び帰国生徒に限る。目的地・日程・費用等は CEGLOC と日・日学類に掲示。人数制限あり。 10/17, 10/22, 11/3, 11/21, 11/26, 12/23 【受入上限数 30 名】		
授業形態	実習・実験・実技		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的			
到達目標	実際にフィールドを訪れ、みずからの観察や体験を通して日本の地域社会における文化の特質を把握する力をつける。		
キーワード	フィールドワーク, 景観, 村落, 都市, 地域社会, 生活文化		
各回授業計画	事前学習 (2 回):10 月 17 日、11 月 21 日 (月曜 3 限) に実施。オリエンテーション及び対象地域の地理・歴史・生活文化、集落景観の特質等をテーマに講義を行う。 実地見学 (4 回):10 月 22 日、11 月 3 日、11 月 26 日、12 月 23 日を予定。目的地・内容については事前学習時に指示する。見学の日程は変更の可能性もあるので掲示に注意すること。 第 1 回 10 月 17 日 (月曜 3 限) 事前学習 第 2 回 10 月 22 日 実地見学 第 3 回 11 月 3 日 実地見学 第 4 回 11 月 21 日 (月曜 3 限) 事前学習 第 5 回 11 月 26 日 実地見学 第 6 回 12 月 23 日 実地見学		
履修条件	外国人留学生および帰国生徒に限る。 交通費、見学入館料等は自己負担とし、実費を徴収する。 履修希望者多数の場合は、人数制限あり。		
成績評価方法	現地での活動 (観察・聞き取り等)、レポートを総合して評価。		
授業外における学習方法	対象地域に関する地理情報を予習・復習することが望ましい。		
教材・参考文献	地形図・文献等は、事前学習の際に指示する。		
オフィスアワー・連絡先	授業時に学生へ知らせる。		
履修者へのメッセージ	見学の際には主体的・積極的に取り組むとともに、地域の住民や一般の見学者の迷惑にならぬよう、十分に注意すること。		

授業科目名	日本の産業見学実習		
科目番号	1B26533	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 BC 集中
担当教員	森本 健弘		
授業概要	日本の伝統産業やものづくりの現場を実際に訪ねて、現状を理解するとともに、問題点を考察する。交通費等は参加者負担。		
備考	(比文開設) 外国人留学生及び帰国生徒に限る。 西暦偶数年度開講。 日本の伝統産業やものづくりの現場を実際に訪ねて、現状を理解するとともに、問題点を考察する。交通費等は参加者負担。【受講制限数 20 名】		
授業形態	実習・実験・実技		
科目群	B		
水準・区分	100 番台 学際的科目		
教育目的	産業の仕組みとそれを支える地域的条件について調べ観察し理解する方法を学ぶ。		
到達目標	ものづくりの仕組み、そこで活用され維持される技術、それらを支える自然・社会・経済的基盤について理解する。それらの変化と新たな指向性について知る。こうしたアプローチとそれを実行するための手法を実習を通じて理解する。		
キーワード	技術, 産業, 伝統, 地域的条件		
各回授業計画	本科目の詳細については、決定次第、掲示により周知します。 第 1 回		
履修条件	外国人留学生及び帰国生徒に限る。締め切りまでに履修登録を済ますこと。基本的には日本語による授業(補完的に英語も使用)。 11 月ないし 12 月にガイダンスを行うので、参加希望者は必ず出席すること。交通費、実習費は参加者負担。		
成績評価方法	事前学習及び見学への取り組みと、レポートによる。		
授業外における学習方法	指示する参考文献や資料を読解すること。		
教材・参考文献	ガイダンスの際に指示する。		
オフィスアワー・連絡先	金:13 時 30 分 ~ 15 時 30 分 総合研究棟 A A311 tmmmt at <a href="http://geoenv.tsukuba.ac.jp">geoenv.tsukuba.ac.jp</a> <a href="http://giswin.geo.tsukuba.ac.jp/sis/jp/">http://giswin.geo.tsukuba.ac.jp/sis/jp/</a>		
履修者へのメッセージ	日本の多様な社会、地域、産業に対して自ら興味をもつ学生を歓迎します。		

授業科目名	「知ること」とは何か III		
科目番号	1B01071	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 C 月 1,2
担当教員	土井 裕人		
授業概要	<p>学問とは、何かを知る営みである。しかし、「知ること」とはいったい何かと問われると、われわれは案外それを「知らない」のではないか。人が物事を知ることの意味や構造、その限界などについて、主に哲学の立場から考察し、伝統的な思想や宗教のなかで紡ぎだされてきた「知」に対する思索や、他の人文諸科学や認知科学の提示する「知」へのアプローチなどを紹介しつつ、「知ること」について問い直してみたい。</p>		
備考	(人文開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・異分野入門の科目		
教育目的	<p>学問とは、何かを知る営みである。しかし、「知ること」とはいったい何かと問われると、われわれは案外それを「知らない」のではないか。人が物事を知ることの意味や構造、その限界などについて、主に哲学の立場から考察し、伝統的な思想や宗教のなかで紡ぎだされてきた「知」に対する思索や、他の人文諸科学や認知科学の提示する「知」へのアプローチなどを紹介しつつ、「知ること」について問い直してみたい。</p>		
到達目標	<p>(1) 各講義で取り上げられた概念について、自分の言葉で説明できる。 (2) (1) を踏まえて、自分の見解を展開できる。</p>		
キーワード	観察の理論負荷性, 科学革命, カント, キリスト教思想, 儒教, 道教, 直観知, 反省知		
各回授業計画	<p>第 1 回【1 月 17 日 (振替授業日) 津崎良典 人文社会系】 [「知ること」と「信じること」] 客観性を重視する科学者は、「事実」に相当する英単語「fact」よりも「data」を好むと言われる。何故だろうか。端的に答えるなら、「事実 (fact)」は客観的だと言い切れないからだ。どうということか。この問いに促されながら、人はどこまで客観的に物事を知ることができるのか考えてみる。</p> <hr/> <p>第 2 回【1 月 17 日 (振替授業日) 津崎良典 人文社会系】 [「知ること」と「信じること」] 客観性を重視する科学者は、「事実」に相当する英単語「fact」よりも「data」を好むと言われる。何故だろうか。端的に答えるなら、「事実 (fact)」は客観的だと言い切れないからだ。どうということか。この問いに促されながら、人はどこまで客観的に物事を知ることができるのか考えてみる。</p> <hr/> <p>第 3 回【1 月 23 日 檜垣良成 人文社会系】 [実践知をめぐって] 「何をなすべきか/なさぬべきか」の知が「実践知」である。人間は何らかの「知」にもとづいて実践を行なう。近現代科学的な「観察 (理論) 知」が台頭する現代にあって「実践知」のあり方について、具体的な事例の検討も含めて、再考してみたい。</p> <hr/> <p>第 4 回【1 月 23 日 檜垣良成 人文社会系】 [実践知をめぐって] 「何をなすべきか/なさぬべきか」の知が「実践知」である。人間は何らかの「知」にもとづいて実践を行なう。近現代科学的な「観察 (理論) 知」が台頭する現代にあって「実践知」のあり方について、具体的な事例の検討も含めて、再考してみたい。</p> <hr/> <p>第 5 回【1 月 30 日 山田庄太郎 非常勤講師】 [西洋古代末期における知] 古代末期から中世初期にかけてキリスト教世界が成立していく中で、教会が、それまで主流であったヘレニズム哲学の知といかに対峙し、またそれを受容していったかを、当時の代表的な思想家の思索を基に考察する。</p> <hr/> <p>第 6 回【1 月 30 日 山田庄太郎 非常勤講師】 [西洋古代末期における知] 古代末期から中世初期にかけてキリスト教世界が成立していく中で、教会が、それまで主流であったヘレニズム哲学の知といかに対峙し、またそれを受容していったかを、当時の代表的な思想家の思索を基に考察する。</p>		

	<p>第7回【2月6日 井川義次 人文社会系】 [「知ること」と中国哲学] 東アジア文化圏の学問を形成した中国哲学における「知ること」をめぐり、中国を代表する「儒教」と「道教」の特質ある論点を取り上げ、現代に生きるわれわれの考えるヒントとしたい。</p> <hr/> <p>第8回【2月6日 井川義次 人文社会系】 [「知ること」と中国哲学] 東アジア文化圏の学問を形成した中国哲学における「知ること」をめぐり、中国を代表する「儒教」と「道教」の特質ある論点を取り上げ、現代に生きるわれわれの考えるヒントとしたい。</p> <hr/> <p>第9回【2月13日 高尾由子 人文社会系】 [直観知と反省知] 直観知と反省知という二つの知の在り方について、ドイツ観念論の思索を手がかりにして考察する。</p> <hr/> <p>第10回【2月13日 高尾由子 人文社会系】 [直観知と反省知] 直観知と反省知という二つの知の在り方について、ドイツ観念論の思索を手がかりにして考察する。</p> <hr/> <p>第11回【2月16日 土井裕人 人文社会系】 [期末試験]</p>
履修条件	「知ること」とは何かⅠ、「知ること」とは何かⅡも履修することで、総合的な理解が得られる。
成績評価方法	定期試験(50%)・・・課題に対しての展開能力と独創性を求める。授業内容や資料を単に引き写しただけの答えは評価しない。 授業への参加姿勢(50%)・・・各回の授業に参加した後、manabaにて期限内に課題を提出することで本項目を評価する。
授業外における学習方法	manabaにて復習を行い、課題を提出すること。また、講義で言及された参考文献を積極的に読むこと。
教材・参考文献	教科書は指定しない。参考文献は各講義担当者が個別に指示する。
オフィスアワー・連絡先	随時(メールによる事前予約) 月:応相談 火:5限 水:応相談 金:6限終了後 人文社会学系棟 A819 doi at logos.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッセージ	問題意識をもって授業に真摯に参加してほしい。授業において真摯な参加態度が見られない場合、その後の履修を認めない。

授業科目名	現代の文化と理論 現代文化を読み解くために		
科目番号	1B02301	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 C 月 1,2
担当教員	佐藤 吉幸, 小川 美登里, 齋藤 一, 清水 知子		
授業概要	現代文化を論じるために必要となる、基礎的な学際理論 (現代思想, 文化理論, 社会理論, 精神分析理論, ポストコロナ理論など) を入門的に紹介しながら、それらを用いて、現代の文学・芸術・社会などのさまざまな文化現象について具体的に考察する。		
備考	(比文開設) 西暦偶数年度開講。 【受講制限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台:異分野入門科目		
教育目的	現代文化を論じるために必要となる、基礎的な学際理論 (現代思想、文化理論、社会理論、精神分析理論、ポストコロナ理論など) を入門的に紹介しながら、それらを用いて、現代の文学・芸術・社会などのさまざまな文化現象について具体的に考察する。		
到達目標	授業で学んだ学際理論を用いて、現代の文学・芸術・社会などのさまざまな文化現象を分析できるようにすることを目標とする。		
キーワード	学際理論, 現代思想, 文化理論, 社会理論, 精神分析理論, ポストコロナ理論		
各回授業計画	<p>第 1 回【1 月 17 日 (火曜・授業振替日) 佐藤吉幸:人文社会系】 [ミシェル・フーコーの権力理論] ミシェル・フーコーの代表的著作の一つである『監獄の誕生』を読解し、近現代権力のメカニズムについて考察する。</p> <hr/> <p>第 2 回【1 月 17 日 (火曜・授業振替日) 佐藤吉幸:人文社会系】 同上</p> <hr/> <p>第 3 回【1 月 23 日 小川美登里:人文社会系】 [精神分析理論と芸術] フロイト、ラカンの精神分析理論を解説し、文学・絵画・映画への応用を試みる。</p> <hr/> <p>第 4 回【1 月 23 日 小川美登里:人文社会系】 同上</p> <hr/> <p>第 5 回【1 月 30 日 齋藤一:人文社会系】 [エドワード・W・サイードとポストコロナ批評] サイードの『オリエンタリズム』(1978 年) を読解し、ポストコロナ批評の問題設定、成果、課題について考察する。</p> <hr/> <p>第 6 回【1 月 30 日 齋藤一:人文社会系】 同上</p> <hr/> <p>第 7 回【2 月 6 日 清水知子:人文社会系】 [デモクラシー理論とメディア] 欧米のデモクラシー理論をふりかえりながら、現代社会におけるメディアと芸術の諸問題を検討する。</p> <hr/> <p>第 8 回【2 月 6 日 清水知子:人文社会系】 同上</p> <hr/> <p>第 9 回【2 月 13 日 佐藤吉幸:人文社会系】 全体のまとめと期末試験</p> <hr/> <p>第 10 回【2 月 13 日 佐藤吉幸:人文社会系】 同上</p>		
履修条件	1・2 年生		
成績評価方法	<p>評価方法 (評価割合):評価基準          期末試験 (50%):課題の展開能力          出席 (30%):3 分の 2 以上の出席          授業態度 (20%):積極的な参加態度</p>		

授業外における 学習方法	授業において指示する
教材・参考文献	授業において関連資料を配布する
オフィスア ワー・連絡先	佐藤 吉幸 金曜昼休み、3限(メールで予約すること) 人文社会学系棟 A703 sato.yoshiyuki.ff at u.tsukuba.ac.jp 小川 美登里 水:水曜午後(ただし予約をとることが必要) 人文社会学系棟 B707 ogawa.midori.gu at u.tsukuba.ac.jp 齋 藤 一 saito.hajime.gn at u.tsukuba.ac.jp <a href="http://www003.upp.sonet.ne.jp/hspstcl/index.htm">http://www003.upp.sonet.ne.jp/hspstcl/index.htm</a> 清水 知子 水:13:30-15:00(要予約) 人文社会学系棟 B608
履修者へのメッ セージ	現代文化に興味がある学生の積極的な履修を期待します。

授業科目名	市場と社会		
科目番号	1B04121	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 C 月 1,2
担当教員	篠塚 友一		
授業概要	社会を構成する個人の意思決定の集合が「市場」という場を経由してどのように一つのコミュニティの経済を成り立たせているのかを検討する。社会の在り方を経済という視点を通して観察する意義と楽しさを学ぶ。		
備考	(社会開設) 西暦偶数年度開講。 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	経済学は、私たちの生活する社会の仕組みを理解するための一つの方法論である。社会を構成する個人の意思決定が、「市場」という場を介してどのように調整されて、一つの社会の経済を成立させるのかを検討する学問である。また、社会の中の人間関係の在り方と社会の豊かさの向上がいかに結びついているのかを検討する学問でもある。経済学的な社会の見方を身につけることで、社会を見る目が広がることの楽しさを学ぶ。		
到達目標	身近な社会問題を、経済学の観点から、批判的かつ論理的に理解することができるようになること。		
キーワード	経済史, 経済思想, 社会的選択理論		
各回授業計画	<p>第 1 回【1 月 17 日 平沢照雄 人文社会系】 現代日本における市場と経済史 (1)</p> <hr/> <p>第 2 回【1 月 17 日 平沢照雄 人文社会系】 現代日本における市場と経済史 (2)</p> <hr/> <p>第 3 回【1 月 23 日 平沢照雄 人文社会系】 現代日本における市場と経済史 (3)</p> <hr/> <p>第 4 回【1 月 23 日 平山朝治 人文社会系】 交換, 貨幣, 日本型経済社会の起源 (1)</p> <hr/> <p>第 5 回【1 月 30 日 平山朝治 人文社会系】 交換, 貨幣, 日本型経済社会の起源 (2)</p> <hr/> <p>第 6 回【1 月 30 日 平山朝治 人文社会系】 交換, 貨幣, 日本型経済社会の起源 (3)</p> <hr/> <p>第 7 回【2 月 6 日 平山朝治 人文社会系】 交換, 貨幣, 日本型経済社会の起源 (4)</p> <hr/> <p>第 8 回【2 月 6 日 篠塚友一 人文社会系】 社会的選択理論入門 (1)</p> <hr/> <p>第 9 回【2 月 13 日 篠塚友一 人文社会系】 社会的選択理論入門 (2)</p> <hr/> <p>第 10 回【2 月 13 日 篠塚友一 人文社会系】 社会的選択理論入門 (3)</p> <hr/> <p>第 11 回【2 月 16 日 篠塚友一 人文社会系】 期末試験</p>		
履修条件	授業の前提として高校程度の基礎的数学の能力・理解力を身につけていることを条件とする。		
成績評価方法	期末試験 2/3 以上の出席を単位取得の必要条件とします。		
授業外における学習方法	授業時に指示された文献や経済用語等についてさらに詳しく復習すること。		
教材・参考文献	授業時に適宜指示する		
オフィスアワー・連絡先	授業終了後または予約		
履修者へのメッセージ	授業中に指名されたり、意見を求められた場合には、積極的に発言することが求められます。		



授業科目名	学校を考える II		
科目番号	1B06021	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 C 月 1,2
担当教員	佐藤 真理子, 磯田 正美		
授業概要	グローバル化のなか、教育はどのような対応を迫られているか。マクロ・ミクロの両面から分析し、算数・数学を事例に説明する。		
備考	(教育開設) 人間学群学生の受講は認めない。講義の一部にディスカッションを取り入れるため、受入れ上限数を 80 名とする。 【受入上限数 80 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的			
到達目標	1 グローバリゼーションが教育に与える影響を理解する。 2 政治・経済を背景にどのように教育は変容したか。 3 教育の新自由主義に対する各国の対応策。		
キーワード	学校とはなにか, グローバリゼーション, 新自由主義		
各回授業計画	第 1 回【1 月 17 日 (振替授業日) 佐藤真理子 人間系】 [グローバル化と教育 (1)] <hr/> 第 2 回【1 月 17 日 (振替授業日) 佐藤真理子 人間系】 同上 <hr/> 第 3 回【1 月 23 日 佐藤真理子 人間系】 [グローバル化と教育 (2)] <hr/> 第 4 回【1 月 23 日 佐藤真理子 人間系】 同上 <hr/> 第 5 回【1 月 30 日 佐藤真理子 人間系】 [グローバル化と教育 (3)] <hr/> 第 6 回【1 月 30 日 佐藤真理子 人間系】 同上 <hr/> 第 7 回【2 月 6 日 磯田 正美 人間系】 [算数・数学教育とグローバル化 (1)] <hr/> 第 8 回【2 月 6 日 磯田 正美 人間系】 同上 <hr/> 第 9 回【2 月 13 日 磯田 正美 人間系】 [算数・数学教育とグローバル化 (2)] <hr/> 第 10 回【2 月 13 日 磯田 正美 人間系】 同上 <hr/> 第 11 回【2 月 16 日 磯田 正美 人間系】 [期末試験] (詳細は授業時に指示する)		
履修条件	人間学群学生の受講は認めない。 講義の一部にディスカッションを取り入れるため、受入れ上限数を 80 名とする。		
成績評価方法	出席状況, 授業内課題, レポート, 試験		
授業外における学習方法	学校教育にかかわる新聞記事や雑誌記事に目を通すこと。		
教材・参考文献	授業時に適宜紹介する。		
オフィスアワー・連絡先	佐藤:金 13:00-15:00 人間系学系棟 A201(CRICED) 磯田:木 13:00-14:00 人間系学系棟 A201(CRICED)		
履修者へのメッセージ	意欲と熱意のある学生が受講すること。 主体的・積極的に取り組むことを求める。		